大学番号 039

注3

設置年度 令和 2年度

計画の区分: 研究科の専攻の設置又は課程の変更

事前伺い

注1

福井大学大学院 工学研究科 安全社会基盤工学専攻 (博士前期課程) 注2

【事前伺い】設置に係る設置計画履行状況報告書

国立大学法人福井大学 令和3年5月1日現在

作成担当者

担当部局 (課) 名 経営企画部経営戦略課

電話番号 0776-27-8055

(夜間) 0776-27-8055

e — mail s-keiei@ad.u-fukui.ac.jp

- (注) 1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。
 - 2 大学院の場合は、表題を「OO大学大学院 ・・・」と記入してください。 設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には現在の名称を記載し、その下欄に
 - () 書きにて、設置時の旧名称を記載してください。
 - 例) ○○大学 △△学部 □□学科

(旧名称:◇◇学科(平成◇◇年度より学科名称変更))

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例)

- ・大学の設置の場合:「〇〇大学」
- ・学部の設置の場合:「○○大学 △△学部」
- ・学部の学科の設置の場合:「○○大学 △△学部 □□学科」
- ・短期大学の学科の設置の場合:「○○短期大学 △△学科」
- ・大学院設置の場合:「〇〇大学大学院」
- ・大学院の研究科の設置の場合:「○○大学大学院 ○○研究科」
- •大学院の研究科の専攻の設置等の場合:「○○大学大学院 ○○研究科 ○○専攻(修士課程)」
- 通信教育課程の開設の場合:「○○大学 △△学部 □□学科(通信教育課程)」
- 3 大学番号の欄については、調査対象大学等に対して別途発出する、事務連絡「令和3年度の履行状況 報告書の提出について(依頼)」の別紙に記載のある大学番号を記載してください。

目次

工学研究科

<安	安全社会基盤工学専攻>	^ °−	・ジ
1.	調査対象大学等の概要等・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	•	1
2.	授業科目の概要 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	•	5
3.	施設・設備の整備状況、経費・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	•	1 2
4.	既設大学等の状況 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	•	13
5.	教員組織の状況 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	•	16
6.	附帯事項等に対する履行状況等 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	•	35
7.	その他全般的事項 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	•	36

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設置者

国立大学法人 福井大学

- (2) 大 学 名 福井大学大学院
- (3) 調査対象大学等の位置

〒910-8507 福井県福井市文京3丁目9番1号

- (注)・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
 - ・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職名	設 置 時	変更状況	備考
学長	(ウェダ タカノリ) 上田 孝典 (平成31年4月)		
研究科長	(フクイ カズトシ) 福井 一俊 (平成30年4月)		
専 攻 長	(タマガワ ヨウイチ) 玉川 洋一 (令和2年4月)	(ヤマダ ヤスヒロ) 山田 泰弘 (令和3年4月)	令和3年3月31日任期満 了に伴い交代(3)

- (注)・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を ()書きで記入してください。
 - (例) 令和2年度に報告済の内容 → (2)令和3年度に報告する内容 → (3)
 - ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
 - ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
 - ・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等

- (注) · 当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください(入試 区分ごとではありません)。
 - ・ <u>なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている最小単位</u> <u>(大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」)のほか、それらのコースや専攻単位でも記載してください。</u> <u>その場合別ファイルを作成し提出してください。</u>
 - ・ <u>様式は、平成29年度開設の4年制の学科の完成年度を越えて報告する場合(令和2年度までの5年間)ですが</u>、 完成年度を越えていない場合は修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が4年以下の場合には欄を削除し、 5年以上の場合には、欄を設けてください。)
 - ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程) 及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を 記載してください。
 - ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。

(5) -① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の	学位又は学科		設 置 時	の計画		学生募集の停	備す	×
名称 (学位)	の分野	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	止について	11#1 #	5
工学研究科 安全社会基盤工学専攻 修士(工学)	工学関係	2年	84人	年次 一 人	168人	新規入学者を 募集中		

- (注)・ 定員を変更した場合は、「備考」に変更前の人数、変更年月及び報告年度を()書きで記入してください。
 - 基礎となる学部等がある場合には、「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
 - ・ 「学位又は学科の分野」には、「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要(別記様式第2号 (その2の1))」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。
 - ・ 学生募集停止を予定している場合は、「学生募集の停止について」で「新規入学者を募集停止予定」を選択すると ともに、「備考」に「令和〇年度から学生募集停止(予定)」と記載してください。

(5) -② 調査対象学部等の入学者の状況

	対象年度	平成	2	9年	度	平	成 3	0年	叓	令	和テ	亡年	度	令和	2 年度	令和	3	年度	平均入学定員		備	考
区分		春季入	学	その他の)学期	春季	入学	その他の	学期	春季之	入学	その作	也の学期	春季入学	その他の学典	春季入学	学 そ	・の他の学期	超過率	の平均入学定 員超過率	ν m	77
		•	人		人		人		人		人		人	84人	人 84		84	- 人				
A 入	、学定員	()			(,)		()	(-)	(-)				
		[]			[[]		干名]		<u>Ŧ</u>	名]				
	-t-c stee	,		,		,		,				,		96	1	86		,				
志願	首 数	([)	([)	([)	([)	([)	([)	(-) [6]	[(-)	[3]) [(.) []				
			1			L		L		L		L		96	1	86	+					
受験:	者数	()	()	()	()	()	()	(-)	(-)	(-) (()	1.04倍	一 倍		
		[]	[]	[]	[]	[]	[]	[6]	[1]	[3]		[]	1.0416	П		
A 16	→ 444	,		,		,	,	,	,	,	,	,	,	92	1, 1,	86	. [, ,				
合格	首 数	()	(Γ)	([)	([)	()	(Г)	(–) [6]	[(-)	[3]) [(,) r 1				
		L	_	L	J	L	J	L	J	L	J	L	J	90	1	84	+		1			
В入	、学者数	()	()	()	()	()	()	(-)	(-)	(-		·)				
		Ì	از	Ì	ĺ	Ì	j	Ì	j	Ì	j	Ì	j	[6]	[1]	[3]	ĺ					
入学定員 B/										_	_		_	1.	. 08	1	. 0	0				

- (注)・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
 - ・ ()内には、<u>編入学の状況について**外数で**記入</u>してください。なお、編入学を複数年次で行っている場合には、(())書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。 該当がない年度には「一」を記入してください。
 - ・ 転入学生は記入しないでください。
 - ・ []内には、<u>留学生の状況について**内数で**記入</u>してください。該当がない年には「一」を記入してください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。<u>春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「一」を記入</u>してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「入学定員超過率」については、<u>各年度の春季入学とその他を合計した入学定員、入学者数で算出</u>してください。なお、計算の際は<u>小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入</u>してください。
 - ・ 「平均入学定員超過率」には、開設年度から報告年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。 計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。なお、完成年度を越えて報告書を提出する大学等は、 報告年度(令和3年度)から起算した修業年限に相当する期間の入学定員超過率の平均を記載してください。
 - ・「開設年度から報告年度までの平均入学定員超過率」は、完成年度を越えて報告書を提出する大学等のみ 記入してください。完成年度を越えていない場合は「一」を記入してください。

(5) -③ 調査対象学部等の在学者の状況

	対象年度	平成2	9 年度	平成3	0 年度	令和え	元 年度	令和 2	2年度	令和:	3 年度	備	<u> </u>	考
学	年	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期		Ħ	75
					$\overline{}$			90	1	84	_			
	1 年次							[6]	[1]	[3]	[]			
					$\overline{}$					89				
	2 年次									[6]				
	3 年次				$\overline{/}$									
	3 4 %													
	4 Æ Yn				/									
	4 年次													
								9			73			
	計	[]	[]	[]		7]	_	9]			
		()	()	()	(-	-)	(-	-)			

- ・令和3年5月1日 公表
- (注)・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
 - ・ []内には、<u>留学生の状況について内数で記入</u>してください。該当がない年度には「一」を記入してください。
 - ・()内には、<u>留年者の状況について、内数で記入</u>してください。<u>該当がない年には「一」を記入</u>してください。
 - ・ 編入学生や転入学生も含めて記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。<u>春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「一」を記入</u>してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - · 「計」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分				内訳		主た退労理由
対象年度	在学者数(b)	退学者数(a)	入学した年度	退学	者数	主な退学理由 (留学生の理由は[]書き)
平成29年度	人	人	平成29年度	人	うち留学生数人	
			平成29年度	人	人	
平成30年度	人	人	平成30年度	人	人	
			平成29年度	人	人	
令和元年度	人	人	平成30年度	人	人	
			令和元年度	人	人	
			平成29年度	人	人	
令和2年度	91 人	1 人	平成30年度	人	人	
13/11/2 — 12	01 70	1 1	令和元年度	人	人	
			令和2年度	1 人	0 人	就職(1名)
			平成29年度	人	人	
			平成30年度	人	人	
令和3年度	173 人	0 人	令和元年度	人	人	
			令和2年度	0 人	0 人	
			令和3年度	0 人	0 人	
合 計		1人		1人	0 人	

- (注)・数字は、報告年度の5月1日現在の数字を記入してください。
 - ・ 各対象年度の在学者数については、対象年度の人数を記入してください。(在学者数から退学者数を減らす必要はありません。)
 - ・ 内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、<u>留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入</u>してください。
 - ・ 在学者数、退学者数には編入学生や転入学生も含めて記入してください。
 - - ・就職・学生個人の心身に関する事情・家庭の事情・除籍・その他

(5) 一⑤ 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【平成29年度】 平成29年<u>度の退学者数(a)</u> #DIV/0! 平成29年度の在学者数(b) 【平成30年度】 平成30年度の退学者数(a) #DIV/0! 平成30年度の在学者数(b) 【令和元年度】 令和元年度の退学者数(a) #DIV/0! % 令和元年度の在学者数(b) 【令和2年度】 令和2年度の退学者数(a) 1.09 % 令和2年度の在学者数(b) 【令和3年度】 令和3年度の退学者数(a) % 令和3年度の在学者数(b)

(注)・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

2 授業科目の概要

<工学研究科 安全社会基盤工学専攻>

(1)一① 授業科目表

核燃料工学特論

プラント安全工学基礎 I 1前

2

2

2

1

2

1後

国立大学法人 福井大学 【令和3年度】 専任教員等の配置 単位数 単位数 専任教員等の配置 任 任 科目 当 科目 授業科目の名称 選 助 助 授業科目の名称 選 助 必 自 教 准 講 自 教 准 助 年 区分 区分 年 兼 担 教 兼 教 次 次 科学英語コミュニケーション I 1前 兼3 科学英語コミュニケーション Ι 1 兼3 通 通 科学英語コミュニケーション Ⅱ 1後 兼2 科学英語コミュニケーション Ⅱ 1後 1 玉 科 科 語 科学英語表現 I 語 科学英語表現 I 兼1 兼1 2前 目 目 科 科学英語表現 Ⅱ 科学英語表現Ⅱ A 群 兼3 2後 兼3 2後 Α 目 目 群 科学英語特別講義 2前 2 兼2 科学英語特別講義 兼2 2前 2 1 1 大学院海外短期インターンシップ 共 2 2 1 通 通 4 長期インターンシップ 長期インターンシップ 科 通 科 PBL I 2 通 PBL I 2 1 1 科目 科 PBL II 4 PBL II 1 1 目 目 目 **性** 生命複合科学特論 Ⅰ 生命複合科学特論 I 1前 2 兼14 2 兼14 В В 群 群 生命複合科学特論Ⅱ 生命複合科学特論Ⅱ 1後 2 兼14 2 兼14 兼1 |工業日本語特論 I 1前 2 兼1 工業日本語特論I 2 工業日本語特論Ⅱ 1後 兼1 工業日本語特論Ⅱ 兼1 2 1後 2 25 兼33 25 兼3 0 2 0 小計(14科目) 0 0 小計(14科目) 安全社会基盤工学特別演習及び実験 1前 24 18 5 安全社会基盤工学特別演習及び実験Ⅰ 4 23 20 1前 1後 20 24 18 1後 4 23 安全社会基盤工学特別演習及び実験 5 安全社会基盤工学特別演習及び実験Ⅱ 専 専 攻 攻 安全社会基盤工学特別講義 1前 2 1 安全社会基盤工学特別講義 I 1前 2 共 共 安全社会基盤工学特別講義Ⅱ 1後 2 安全社会基盤工学特別講義 Ⅱ 2 通 通 安全社会基盤工学ゼミナール I 安全社会基盤工学ゼミナール I 1通 2 1通 20 2 24 18 5 2 23 科 科 目 目 安全社会基盤工学ゼミナールⅡ 安全社会基盤工学ゼミナールⅡ 2通 24 5 20 18 2通 8 23 20 小計(6科目) 8 24 18 5 1 0 小計(6科目) 8 0 6 2 0 8 0 社会インフラ概論 1前 2 3 9 2 1 社会インフラ概論 2 3 8 2 1前 量子エネルギー応用論 1前 兼14 量子エネルギー応用論 兼14 2 2 半導体デバイス 1後 2 半導体デバイス 1後 2 1 電子物性特論 電子物性特論 1前 2 1前 2 システム工学特論 2 システム工学特論 1前 信号処理特論 1前 2 信号処理特論 1前 2 社 社 計算科学 計算科学 会 1前 2 会 1前 2 1 イ 計算機工学特論 1後 2 |計算機工学特論 フ フ 建築弾塑性力学 1前 建築弾塑性力学 1前 2 2 ラ ラ |建築都市計画特論 1前 2 |建築都市計画特論 2 科 科 都市論 都市論 1前 2 1前 2 目 目 都市計画特論 1後 2 都市計画特論 1後 2 土木構造特論 1前 土木構造特論 2 1前 構造材料学 1前 構造材料学 2 専 1前 2 専 日本建築史特論 1後 2 日本建築史特論 1後 2 攻 攻 建築計画学特論 1前 2 建築計画学特論(未開講) 2 科 科 建築インターンシップ 4 建築インターンシップ エネルギー概論 2 エネルギー概論 1後 目 目 エネルギー輸送 エネルギー輸送 1後 2 1後 2 1 群 群 数值流体力学 1前 数值流体力学 1後 1後 燃焼工学 燃焼工学 兼 統計力学 統計力学 1前 2 1前 2 エネルギー工学特論 1前 2 エネルギー工学特論 1前 1 2 パワーエレクトロニクス特論 1後 パワーエレクトロニクス特論 1後 2 1 2 1 電力システム 電力システム 1前 2 2 1 ネ ネ ル 熱事象・エネルギーシステム 1後 2 ル 熱事象・エネルギーシステム 1後 2 原子炉システム基礎 I 1前 原子炉システム基礎 I 1前 2 2 1 原子炉システム基礎Ⅱ 1後 2 原子炉システム基礎 Ⅱ 2 科 科 1 目 目 核燃料サイクル実習 1後 核燃料サイクル実習 1後 2 2 原子炉実習 原子炉実習 2前 2 2前 2 1 原子炉物理学 原子炉物理学 1後 2 1後 2 次世代炉システム 1前 次世代炉システム 2 兼1 1前 兼1 2 熱水力安全工学 1後 兼1 熱水力安全工学 1後 2 兼1 2 原子力材料学特論 1後 2 原子力材料学特論 1後 2

核燃料工学特論

プラント安全工学基礎 I 1前

1後

2

2

2

	i	1						1 1	i			
	エ	プラント安全工学基礎 Ⅱ	1後		2		1	1				
	科ネ目ル	原子力の安全性と地域共生	1前		2		2	1				
	群ギ	原子カプラント設計工学	1前		2		1					
	l	原子カプラント保全工学			2							兼2
		リスクマネージメント概論	1前		2		5	3	1			
		安全安心の熱流体工学	1後		2			1				
		地震工学特論	1前		2		1					
	IJ	国土·地域計画特論	1前		2					1		
		原子力・エネルギー法規	1前		2		1					
	スクマネージメ	原子力規制	1後		2		1					
	ネ	放射線基礎 I	1前		2		1					
		放射線基礎Ⅱ	1後		2		2		1			
	ンメ	放射化学特論	1前		2		1					
	ン	放射線化学·生物学特論	1後		2		1		1			
	ト 科	原子力防災特論	1前		2		1	1				
	日 群	放射線物理学·計測学	1前		2		1		1			
	群	放射線利用	1前		2		3		1			
専		リスク評価特論	1後		2			1				
攻		廃止措置·廃棄物管理工学	1後		2			1				
科		原子力・耐震耐津波工学特論	1前		2			1				
		安全設計概論	1後		2		7	2	4	1		
目		計算機援用制御系設計	1前		2			1				
群		 機械システム工学	1前		2		1					
		機械動力学	1後		2		·		1			
		破壊力学	1前		2		1		•			
		破壊力学実習	1後		2		1					
		ロボット工学	1後		2		'	1				
		回路・システム論	1後		2			1				
	安	システム制御論	1前		2		1	·				
	安全設計	暗号と情報セキュリティ			2		1					
	設計	構造振動解析	1前		2		1					
	科	一位版					-					
	科 目 群	建架桶垣設計子 建築耐震構造解析学	1後		2		1					
	石 千		<		2		1		4			
		建築都市設計論	1前		2				1			
		地盤解析学	1前		2				1			
		環境水理学	1後		2					1		
		交通論	1後		2		1					
		建築換気力学	1前		2				1			
		光環境工学特論	1後		2		1					
		原子力工学基礎Ⅰ	1前		2		5		2			
		原子力工学基礎Ⅱ	1後		2		2					,,
$oxed{\square}$		小計(77科目)	_	0	156	0	24	19	9	4	0	兼16
		(研究指導)	_		_		24	17	5	1	0	
	小計				24	17	5	1	0			
	合	計(97科目)	-	10	189	0	27	20	9	4	0	兼50

卒業要件及び履修方法

[修了要件]

当該課程に2年以上在学し、次の条件を満たすように合計30単位以上を修 得し、かつ、必要な研究指導を受けた上で、修士論文又は特定の課題につい ての研究成果の審査及び最終試験に合格しなければならない。

1) 工学研究科共通科目

必修科目2単位:科学英語コミュニケーションI, 科学英語コミュニケーションⅡ

2) 自専攻科目

イ 必修科目8単位:安全社会基盤工学特別演習及び実験 I,

14単位

安全社会基盤工学特別演習及び実験Ⅱ

ロ 選択科目14単位:4つの科目群からそれぞれ2単位,及び各コースが 指定する2つの重点科目群から合わせて6単位の計

3) 1)及び2)で修得した単位以外に、工学研究科共通科目、自専攻科目、 他専攻科目(必修以外)から6単位以上

[履修方法]

- ・各コースの学生は、自専攻の4つの科目群からそれぞれ1科目2単位を履
- ・機械設計工学コースの学生は、安全設計科目群とエネルギー科目群の2科 目群から合わせて3科目6単位を履修すること。
- ・電気システム工学コースの学生は、エネルギー科目群と社会インフラ科目 群の2科目群から合わせて3科目6単位を履修すること
- ・建築土木環境工学コースの学生は、社会インフラ科目群と安全設計科目群 の2科目群から合わせて3科目6単位を履修すること。
- ・原子力安全工学コースの学生は、リスクマネージメント科目群とエネルギー 科目群の2科目群から合わせて3科目6単位を履修すること。

1	l _	プラント安全工学基礎 II	1後		2		l ₁		4		Ī	
	科ネ	原子力の安全性と地域共生	1前		2		2	1	'			
	目ル	原子カプラント設計工学	1前		2		1	'				
	群ギ 	原子カプラント保全工学	1後		2		'					兼2
		リスクマネージメント概論	1前		2		5	3	1			11/2
		安全安心の熱流体工学	1後		2		1					
		地震工学特論	1前		2		1					
		国土・地域計画特論	1前		2		•			1		
	リス	原子力・エネルギー法規	1前		2		1					
		原子力規制	1後		2		1					
	クマネー ジメン	放射線基礎 I	1前		2		1					
		放射線基礎Ⅱ	1後		2		2	1				
	ジ	放射化学特論	1前		2		1	•				
	メン	放射線化学・生物学特論	1後		2		' 1	1				
	-	原子力防災特論			2		1	-				
	科 目	放射線物理学・計測学	1前		_			1				
	群	放射線利用	1前		2		3		1			
専		リスク評価特論	1前		_		3	1				
攻		リヘク計 山村 im 廃止措置・廃棄物管理工学	1後		2				1			
			1後		2			4	1			
科		原子力・耐震耐津波工学特論	1前		2		_	1				
目		安全設計概論	1後		2		7	4	3			
群		計算機援用制御系設計	1前		2			1				
μт		機械システム工学	1前		2		1	4				
		機械動力学	1後		2			1				
		破壊力学	1前		2		1					
		破壊力学実習	1後		2		1					
		ロボット工学	1後		2			1				
	<u> </u>	回路・システム論	1後		2			1				
	安 全	システム制御論	1前		2		1					
	一 設 計	暗号と情報セキュリティ	1後		2		1					
	計科	構造振動解析	1前		2		1					
	科目	建築構造設計学	1後		2		1					
	群	建築耐震構造解析学	1後		2		1					
		建築都市設計論	1前		2				1			
		地盤解析学	1前		2			1				
		環境水理学	1後		2				1			
		交通論	1後		2		1					
		建築換気力学	1前		2				1			
		光環境工学特論	1後		2		1					
		原子力工学基礎 I	1前		2		5	1	1			
		原子力工学基礎 Ⅱ	1後		2		2					
		小計(77科目)	-	0	156	0	23	19	8	3	0	兼18
		(研究指導)	-		-		23	20	6	2	0	
		小計	-		-		23	20	6	2	0	
	合	計(97科目)	-	10	189	0	26	21	8	4	0	兼51

卒業要件及び履修方法

当該課程に2年以上在学し、次の条件を満たすように合計30単位以上を修 得し、かつ、必要な研究指導を受けた上で、修士論文又は特定の課題につい ての研究成果の審査及び最終試験に合格しなければならない。

1) 工学研究科共通科目

必修科目2単位:科学英語コミュニケーションI,

科学英語コミュニケーションⅡ

2) 自専攻科目

イ 必修科目8単位:安全社会基盤工学特別演習及び実験 I,

14単位

安全社会基盤工学特別演習及び実験Ⅱ

ロ 選択科目14単位:4つの科目群からそれぞれ2単位,及び各コースが 指定する2つの重点科目群から合わせて6単位の計

3) 1) 及び2) で修得した単位以外に、工学研究科共通科目、自専攻科目、 他専攻科目(必修以外)から6単位以上

[履修方法]

- ・各コースの学生は、自専攻の4つの科目群からそれぞれ1科目2単位を履 修すること。
- ・機械設計工学コースの学生は、安全設計科目群とエネルギー科目群の2科 目群から合わせて3科目6単位を履修すること。
- 電気システム工学コースの学生は、エネルギー科目群と社会インフラ科目 群の2科目群から合わせて3科目6単位を履修すること 建築土木環境工学コースの学生は、社会インフラ科目群と安全設計科目群
- の2科目群から合わせて3科目6単位を履修すること。
- ・原子力安全工学コースの学生は、リスクマネージメント科目群とエネルギー 科目群の2科目群から合わせて3科目6単位を履修すること。

【令和2年度】

	科目			配当		单位数		_			の配		兼任
	区分		授業科目の名称	当年次	必	選	自	教	准教	講	助	助	兼
	++		科学英語コミュニケーション I	1前	<u>修</u> 1	択	由	授	授	師	教	手	担 兼3
	共通	外国	科学英語コミュニケーションⅡ		1								兼
	科	語語	科学英語表現 I	2前	ľ	1							兼
	目 A	科	科学英語表現Ⅱ	2後		1							兼3
	群	目	科学英語特別講義			2							兼2
共		シィ	大学院海外短期インターンシップ	1~2前後		1		1					
通		ッン プター	大学院海外短期インターンシップI	1~2前後		2		1					
	共	目ン	長期インターンシップ	1~2前後		4		1					
科	通科	科 B L	PBL I	1~2前後		2			1				
目	目	∃ L	PBLI	1~2前後		4			1				
	B 群	生 科命	生命複合科学特論 I	1		2			1				兼1
	中十	目科学	生命複合科学特論Ⅱ			2		1					兼1
		留 科学 目生	工業日本語特論 I 工業日本語特論 II			2							兼
		向	一来 1 本品 1	- 12	2	25	0	3	1	0	0	0	兼3
			プリンロ (14 イン ロ) 安全社会基盤工学特別演習及び実験]	+	4	23	U	23	18	5	1	U	水の
			安全社会基盤工学特別演習及び実験Ⅰ		4			23	18	5	1		
	専 攻		安全社会基盤工学特別講義Ⅰ			2		1			'		
	以共通		安全社会基盤工学特別講義			2		1					
	通		安主社会基盤工学行列講教』 安全社会基盤工学ゼミナール I					23	18	E	1		
	科目		安全社会基盤工学ゼミナール I 安全社会基盤工学ゼミナール II	1通		2		23	18	5	1		
				2通	_		•			5	1	_	
	1		小計(6科目)	- 1 26	8	8	0	23	18	5	1	0	
			社会インフラ概論	1前		2		3	9	2	1		٠.
			量子エネルギー応用論	. 13.3		2							兼1
			半導体デバイス	1後		2			1				
			電子物性特論	1前		2		1					
			システム工学特論			2			1				
	礻	Ξ	信号処理特論	1前		2			1				
	2		計算科学	1前		2			1				
	2	, ,	計算機工学特論	1後		2					1		
	-	インフラ斗目	建築弾塑性力学	1前		2			1				
	l ₹	フ 斗	建築都市計画特論	1前		2			1				
			都市論	1前		2			1				
	君	详	都市計画特論	1後		2		1					
			土木構造特論	1前		2			1				
専			構造材料学	1前		2				1			
-			日本建築史特論	1後		2				1			
攻			建築計画学特論	1前		2			1				
科			建築インターンシップ	1~2前後		4				1			
目			エネルギー概論	1後		2		4	4	1	1		
			エネルギー輸送	1後		2		1					
群			数值流体力学	1前		2			1				
			燃焼工学	1後		2			1				
			統計力学	1前		2				1			
	_	L	エネルギー工学特論			2		1					
	=	木	パワーエレクトロニクス特論			2		l	1				
	1	レギ	エカシステム	1前		2			'		1		
	-	۲ 	熱事象・エネルギーシステム			2		1			'		
	Ŧ	4	熟事家・エネルキーシステム 原子炉システム基礎					-	4				
		∃ 詳		1		2		4	1				
	1	. 1.	原子炉システム基礎Ⅱ			2		4	1				
			核燃料サイクル実習			2				1			
			原子炉実習	2前		2			1	1			
			原子炉物理学	1後		2			1				ير.
			次世代炉システム			2			1				兼1
	1		熱水力安全工学	1後		2		1					兼

1 1		ᄧ고ᆉᄱᄽᆉ			ا ہا					1	Ì	
	エ	原子力材料学特論			2		1					
	ネ	核燃料工学特論	1後		2		2					
	ルギ	プラント安全工学基礎 I	1前		2		1	1	1			
	ギー	プラント安全工学基礎 Ⅱ	1後		2		1		1			
	科 目	原子力の安全性と地域共生	1前		2		2	1				
	群	原子カプラント設計工学	1前		2		1					
		原子カプラント保全工学	1後		2							兼2
		リスクマネージメント概論	1前		2		5	3	1			
		安全安心の熱流体工学	1後		2			1				
		地震工学特論	1前		2		1					
	IJ	国土·地域計画特論	1前		2					1		
	ス	原子力・エネルギー法規	1前		2		1					
	クフ	原子力規制	1後		2		1					
	マネ	放射線基礎 I	1前		2		1					
	クマネージ	放射線基礎Ⅱ	1後		2		2	1				
	ンメ	放射化学特論	1前		2		1					
	メン・	放射線化学・生物学特論	1後		2		1	1				
	ト 科	原子力防災特論	1前		2		1	1				
	目	放射線物理学・計測学	1前		2		1		1			
=	群	放射線利用	1前		2		3	1				
専		リスク評価特論	1後		2				1			
攻		廃止措置 廃棄物管理工学	1後		2				1			
科		原子力・耐震耐津波工学特論	1前		2			1				
		安全設計概論	1後		2		7	2	4	1		
目		計算機援用制御系設計	1前		2		,	1	·	•		
群		機械システム工学	1前		2		1	ľ				
		機械動力学	1後		2		·		1			
		破壊力学	1前		2		1					
		破壊力学実習	1後		2		1					
		ロボット工学	1後		2		'	1				
		回路・システム論	1後		2			1				
	#	システム制御論	1前		2		1	ı				
	安全設	プヘノム 前岬					-					
	設	構造振動解析	1後		2		1					
	計 科		1前		2		1					
	目	建築構造設計学	1後		2		1					
	群	建築耐震構造解析学	1後		2		1		_			
		建築都市設計論	1前		2				1			
		地盤解析学	1前		2				1			
		環境水理学	1後		2					1		
		交通論	1後		2		1					
		建築換気力学	1前		2				1			
		光環境工学特論	1後		2		1					
		原子力工学基礎 I	1前		2		5	1	1			
		原子力工学基礎 Ⅱ	1後		2		2					
		小計(77科目)	-	0	156	0	23	19	9	4	0	兼17
		(研究指導)	-		-		23	18	5	1	0	
		小計	-		_		23	18	5	1	0	
	合	計(97科目)	-	10	189	0	26	20	9	4	0	兼50

卒業要件及び履修方法

[修了要件]

当該課程に2年以上在学し、次の条件を満たすように合計30単位以上を修得し、かつ、必要な研究指導を受けた上で、修士論文又は特定の課題についての研究成果の審査及び最終試験に合格しなければならない。

1) 工学研究科共通科目

必修科目 2 単位:科学英語コミュニケーション I , 科学英語コミュニケーション Ⅱ

2) 自専攻科目

イ 必修科目8単位:安全社会基盤工学特別演習及び実験 I,

安全社会基盤工学特別演習及び実験Ⅱ

ロ 選択科目14単位: 4つの科目群からそれぞれ2単位,及び各コースが 指定する2つの重点科目群から合わせて6単位の計

14単位

3) 1)及び2)で修得した単位以外に,工学研究科共通科目,自専攻科目, 他専攻科目(必修以外)から6単位以上

「履修方法】

- ・各コースの学生は、自専攻の4つの科目群からそれぞれ1科目2単位を履 修すること。
- ・機械設計工学コースの学生は、安全設計科目群とエネルギー科目群の2科目群から合わせて3科目6単位を履修すること。
- ・電気システム工学コースの学生は、エネルギー科目群と社会インフラ科目 群の2科目群から合わせて3科目6単位を履修すること。
- ・建築土木環境工学コースの学生は、社会インフラ科目群と安全設計科目群
- の2科目群から合わせて3科目6単位を履修すること。 ・原子力安全工学コースの学生は、リスクマネージメント科目群とエネルギー 科目群の2科目群から合わせて3科目6単位を履修すること。
- (注)・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
 - ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
 - 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引き」の「教育課程等の概要」を確認してください。
 - ・ 「認可時又は届出時」には 設置認可時又は届出時の授業科目全て(兼任、兼担教員が担当する科目を含む。)を
 - 黒字で記入してください。その上で、各年度については、<u>認可時又は届出時から変更となっている箇所は**太字の赤字**としてください</u>。
 - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても科目名の後ろに「(未開講)」として記入してください。
 - 1ページ目には認可時又は届出時と報告年度2つの表を記入してください。
 - ・ 不要な年度(令和元年度開設であれば平成30年度)の表は適宜削除してください。

(<u>2つの表が1ページに表示されるように</u>してください。)

・ 専門職大学等の場合、「実験、実習又は実技による授業科目」には「【※】」、「臨地実務実習」による授業科目には「【臨】」、「連携実務演習」による授業科目には「【連】」を授業科目の名称の右側に記入してください。

(1) - ②授業科目表に関する変更内容

【令和2年度】

- ・教育効果向上のため教員体制を見直し、「科学英語コミュニケーションⅡ」の兼任教員の配置を「兼2→3」に変更。 ・教員の退職のため教員体制を見直し、「安全社会基盤工学特別演習及び実験Ⅰ」、「安全社会基盤工学特別演習及び実験Ⅱ」、「安全社会基 盤工学ゼミナールⅠ」、「安全社会基盤工学ゼミナールⅡ」の専任教員の配置を「教授24→23」に変更。
- ・教員の退職のため教員体制を見直し、「半導体デバイス」の専任教員の配置を「教授1→0、准教授0→1」に変更。
- ・事務的ミスが判明したため、「核燃料サイクル実習」、「プラント安全工学基礎Ⅱ」、「リスク評価特論」、「廃止措置・廃棄物管理工学」 |の専任教員の配置を「准教授1→0、講師0→1」に訂正。
- ・事務的ミスが判明したため、「プラント安全工学基礎Ⅰ」の専任教員の配置を「准教授2→1、講師0→1」に訂正。
- ・教員の昇格のため教員体制を見直し、「放射線基礎Ⅱ」、「放射線化学・生物学特論」、「放射線利用」の専任教員の配置を「准教授〇→ 1、講師 1→0 | に変更。
- ・教員の昇格のため教員体制を見直し、「原子力工学基礎Ⅰ」の専任教員の配置を「准教授0→1、講師2→1」に変更。

【令和3年度】

- ・教員の採用、退職、昇格及び担当資格取得のため教員体制を見直し、「安全社会基盤工学特別演習及び実験Ⅰ」、「安全社会基盤工学特別演 |習及び実験Ⅱ」、「安全社会基盤工学ゼミナールⅠ」、「安全社会基盤工学ゼミナールⅡ」の専任教員の配置を「准教授18→20、講師5→ 6、助教 1→2」に変更。
- ・教員の退職のため教員体制を見直し、「社会インフラ概論」の専任教員の配置を「准教授9→8」に変更。
- ・教員の退職及び昇格のため教員体制を見直し、「エネルギー概論」の専任教員の配置を「准教授4→2」に変更。
- ・教員の採用及び退職のため教員体制を見直し、「エネルギー輸送」の専任教員の配置を「教授1→0、准教授0→1」に変更。

- ・教員の退職のため教員体制を見直し、「燃焼工学」の教員の配置を「准教授1→0、兼0→1」に変更。 ・教員の退職のため教員体制を見直し、「燃焼工学」の教員の配置を「准教授1→0、兼0→1」に変更。 ・教員の昇格のため教員体制を見直し、「安全安心の熱流体工学」の専任教員の配置を「教授0→1、准教授1→0」に変更。 ・教員の昇格のため教員体制を見直し、「安全設計概論」の専任教員の配置を「准教授2→4、講師4→3、助教1→0」に変更。
- ・教員の昇格のため教員体制を見直し、「機械動力学」、「地盤解析学」の専任教員の配置を「准教授 0 → 1 、講師 1 → 0 」に変更。
- ・教員の昇格のため教員体制を見直し、「環境水理学」の専任教員の配置を「講師0→1、助教1→0」に変更。
- (注)・ 2(1)一① 授業科目表に記入された各年度における変更内容(配当年次の変更、専任教員等の配置の変更、
 - 授業科目名の変更、新規科目の追加など)を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
 - 変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。
 - ・ 不要な年度(平成30年度開設であれば平成29年度)の表は適宜削除してください。

(2) 授業科目数

		設置時	の計画			変更状況	兄		備考
必何	多	選択	自由	計 (A)	必修	選択	自由	計	1 用 右
4	科目	93 科目	0 科目	97 科目	4 科目 [0]	93 科目 [0]	0 科目 [0]	97 科目 [0]	

(注) · <u>未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入</u>するとともに、[] 内に、設置時の計画からの増減を 記入してください。(記入例:1科目減の場合:△1)

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単 位 数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由,代替措置の有無
1	建築計画学特論	2	1	専門	選択	後任教員の授業担当資格審査が間に合わなかったため
2						
3						

- (注) ・ 配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
 - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については記入しないでください。
 - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。
 - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入して ください。

(4) 廃止科目 該当なし

番号	授業科目名	単 位 数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由,代替措置の有無
1						
2						
3						

- (注)・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止(教育課程から削除)した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
 - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」として記入してください。
 - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。
- (5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当科目については今年度、未開講となっていることを、掲示(オンライン含む)及び時間割等で全学 生に周知済である。また、該当科目が今年度開講されていなくても、同分野同条件の科目が他に7科目 あること、及び次年度は開講予定であることから、修了要件を満たすことは問題ないと判断している。

- (注)・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する大学の所見、 学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。
- (6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

未開講科目(3)と廃止科目(4)の計 設置時の計画の授業科目数の計(A) = 1.03 %

- (注)・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。
 - ・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3) 未開講科目」と「(4) 廃止科目」の合計数となるように 留意してください。

3 施設・設備の整備状況,経費

	区		分					内					容				備考
(1)		区	分			専	用	共	用		共用する 学校等の				計		
		校纟	島 敷 均	<u>t</u>			267, 793m ²			0m²)m²		267, 79; 267, 65		
校		運動]場用地	ļ.			94, 273m²			0m²		()m²		94, 27	22	駐車場、緑地、道路等 の面積の見直し及び附
地		小	計	-			362, 066㎡ 361, 924㎡			0m²		()m²			ômੈ	置研究所を校舎に変更 したため(2)
等		そ	の他	ļ.			180, 918㎡ 181, 060㎡			0m²		()m²		180, 91, 181, 06		
Ą		合	計	-			542, 984m²			0m²)m²		542, 98	4m²	
						専	用	共	用		共用する 学校等 <i>の</i>				計		附置研究所を校舎に変更 したため(2)
(2) 校	5		舎				144, 470㎡ 145, 453㎡ 138, 456㎡		ı	0m²		()m²		144, 47 <u>9</u> 145, 45 138, 45	3 m ²	大学会館及び便所取壊し (計983㎡) による減。 大学会館は国際センター
					(44, 470㎡) 45, 453㎡) 3 8, 456㎡)	(0m²) (0 m ²))	((144, 470㎡, 145, 453㎡, 138, 456㎡,	_	(仮称) として新営し、 令和3年9月完成予定。 (3)
				講	義	室	演	習室	実験到	室智学	情報外	処理学習]施設	語:	学学習施設		大学全体
(3) 教	Į	室	等			72 <u>5</u> 715		99室		426室	(補助	職員	18室 3人)	(補助			研究室、教員室を講義 室に改修したため (2)
(4) 専	コナ 少	r S III s	·=				新設学部	等の名称				室		数			令和2年3月
(4) 号	-1工 字X	く貝切チ	至			工学研	研究科 安全	社会基盤工	二学専攻			5! 6			3	Ē	専任教授1名が退職のた め(2)
(5)	亲	新設学部 の名和		[j	図 ち外国	書		i雑誌 外国書〕	電子ジ ⁻	ィーナル	- 視聴9	 意資料	機械	・器具	標。	Z	
		07-111	'n			f	₩	種	[うちタ	卜国書 〕		点		点		点	研究科単位での特定不
図		研究科	+	685, 32 677, 45				[20, 500] [19, 450]	18, 500 (15, 500 (5, 700		6, 000		1	能なため,大学全体の 数
書 • 設	女生学専	社会基 攻	·盛工	(680, 91 (663, 31	5 [20 1 [20	2, 478] 1, 333]	(35, 260 (32, 516 ([21, 183]) [19, 308])	(16, 890 [(15, 344 [15, 495]) 14, 032])	(5, 3 (5, 4	388) 136)	(5,	893)	(1)		再集計したため(3)
備		計		685, 32 677, 45			35, 700 (32, 700 ([20, 500] [19, 450]	18, 500 〔 15, 500 〔			5, 700		6, 000		1	
		п		(680, 91 (663, 31	5 [20 1 [20	2, 478) 1, 333)) (35, 260 () (32, 516 ([21, 183]) [19, 308])	(16, 890 [(15, 344 [15, 495]) 14, 032])	(5, 3 (5, 4	388) 136)	(5,	893)	(1)		
(6) 図]	書	館		面		積		閲覧の	座席数		収	納	可能	册 数		大学全体
			,,,				8, 65	3m²			827				788,	333	
(7) 体		育	館		面		積 			体育館以	外のスァ	ピーツ施	設の概	要			大学全体
								9㎡ 屋外球	1	プール,	野球場				I		
		経費	Σ		分		開設年度	完成年月			開設的	前年度	開設	年度	完成年度		
(8) 経費 <i>の</i>	り首	積り		人当り			— 千円 ————			購入費	_	千円				円	
積り及維持方	とび			研 3			— 千円 ———————————————————————————————————	<u> </u>		購入費		千円		千円		-円	国費 (運営費交付金) による
の概	要	学生 1	J	第	1 年次		第2年次 		3年次	第4年			5 年次	- m	第6年次		
	-	納付		以外の約		千円		f用	一千円		千円			f円	_ - 1	一円	
		子生	州门立	ルットリンポ	止行人	ガンび	水女										

- (注)・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、 複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の 項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)
 - ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
 - ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には令和3年5月1日現在の数値を記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、 その理由及び報告年度「(2)」を「備考」に赤字で記入してください。
 - なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 - ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」 を併せて提出してください。
 - なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、黒字で記入してください。
 - ・ 国立大学については「(8)経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

4. 既設大学等の状況

大学の名称	福	井 大	学				学生募集停止学科数	10	平均入学定員超 過率1.3倍以上 の学科等数	0	備考
既設学部等の名称	修業 年限	入学 定員	編入学定員	収容 定員	学位又 は称号	平均入学 定員 超過率	令和3年度 入学定員 超過率	定員変更 年度 (AC期間の 学科のみ)	開設 年度	所 在 地	
国立大学法人	年	人	年次	人		倍	倍	年度	年度	年度	
教育学部	4	100	人 -	400	学士	1. 03	1. 09	_	_	_	
学校教育課程	4	100	-	400	(教育学) 学士 (教育学)	1. 03	1. 09	-	平成28	福井県福井市文京3 丁目9番1号	
教育地域科学部	4	_	-	-		-	-	-	-	_	
学校教育課程	4	-	-	-	学士 (教育学)	-	-	-	平成11	福井県福井市文京3 丁目9番1号	平成28年度より学生募 集停止
地域科学課程	4	-	-	-	学士 ^(地域科学)	-	-	-	平成20	同上	平成28年度より学生募 集停止
<u>医学部</u>		170	2 年次 5	925		1. 01	1. 00	_	_	-	
<u>医学科</u>	6	110	2年次	685	学士	1. 00	1. 00	令和 2	昭和55	福井県吉田郡永平寺町松 岡下合月23号3番地	
看護学科	4	60	-	240	学士(看護学)	1. 03	1. 01	-	平成9	同上	
			3年次	2.122	学士						
工学部	4	525	40 3 年次	2180	デュ (エ学) 学士	1. 02	1. 04	-		- 福井県福井市文京3	
機械・システム工学科	4	155	10 3 年次	640	(工学)	1. 02	1. 07	-	十八20	丁目9番1号	
電気電子情報工学科	4	125	20	540	学士 ^(工学)	1. 02	1. 07	-	平成28	同上	
建築・都市環境 工学科	4	60	3年次 10	260	(工字)	1. 05	1. 05	-	平成28	同上	
物質・生命化学科	4	135	-	540	学士 (工学)	1. 02	1. 00	-	平成28	同上	
応用物理学科	4	50	-	200	学士 ^(工学)	1. 05	1. 04	-	平成28	同上	
機械工学科	4	-	-	-	学士 ^(工学)	-	-	-	平成11	同上	平成28年度より学生募 集停止
電気・電子工学科	4	_	-	-	学士 ^(工学)	-	-	-	平成11	同上	平成28年度より学生募 集停止
情報・メディア工学科	4	-	-	-	学士 (工学)	-	-	-	平成11	同上	平成28年度より学生募 集停止
建築建設工学科	4	_	-	-	学士 ^(工学)	-	-	-	平成11	同上	平成28年度より学生募 集停止
材料開発工学科	4	_	-	-	学士 ^(工学)	-	-	-	平成11	同上	平成28年度より学生募 集停止
生物応用化学科	4	_	-	_	学士 (工学)	-	-	-	平成11	同上	平成28年度より学生募 集停止
物理工学科	4	_	-	-	学士 ^(工学)	-	-	-	平成11	同上	平成28年度より学生募 集停止
知能システム工学科	4	-	-	_	学士 (工学)	-	-	-	平成11	同上	平成28年度より学生募 集停止
[== 1000	,	•		0.16	学士				T - 1-00		
国際地域学部	4	60	_	240	(国際地域)	1. 04	1. 06		平成28	福井県福井市文京3	
国際地域学科	4	60	-	240	字士 (国際地域)	1. 04	1. 06	_	平成28	丁目9番1号	
大学全体	-	855	45	3745	-	-	-	-	-	-	

大学の名称	福	井 大	学大	学的			学生募集停止学科数		平均入学定員超 過率1.3倍以上 の学科等数	2	備考
既設学部等の名称	修業年限	入学 定員	編入学定 員	収容 定員	学位又 は称号	平均入学 定員 超過率	令和3年度 入学定員 超過率	定員変更 年度 (AC期間の 学科のみ)	開設 年度	所 在 地	
	年	人	年次 人	人		倍	倍				
教育学研究科											
学校教育専攻	2	_	_	_	修士 (教育学)	-	-	_	平成20	福井県福井市文京3 丁目9番1号	令和2年度より学生 集停止
(修士課程)					(32)						
福井大学・奈良女子大 学・岐阜聖徳学園大学 連合教職開発研究科											A 50 6 6 7 3 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1
教職開発専攻 (専門職学位課程)	2	60	-	120	教職修士 (専門職)	0. 95	0. 81	-	平成30	福井県福井市文京3丁目9番1号	令和2年度入字定員 (20人)
(寺门城子) (本杯生)											
医学系研究科											
看護学専攻	2	12	-	24	修士	0. 66	0. 58	-	平成13	福井県吉田郡永平寺町松 岡下合月23号3番地	
(修士課程)					(有成于)						
統合先進医学専攻	4	25	-	100	博士	0. 87	0. 80	-	平成25	同上	
(博士課程)											
先端応用医学専攻	4	-	-	-	博士	-	-	-	平成20	同上	平成25年度より学生 集停止
(博士課程)											
工学研究科											
<u>工子切允科</u> 産業創成工学専攻	2	85	_	170	修士	1. 06	1. 07	_	令和2	福井県福井市文京3	
(博士前期課程)	۷	00		170	(工学)	1.00	1.07		13 ባዝረ	丁目9番1号	
<u>安全社会基盤工学</u> <u>専攻</u>	2	84	_	168	修士 (工学)	1. 04	1. 00	_	令和2	同上	
<u>等以</u> (博士前期課程)					(工字)						
<u>知識社会基礎工学</u> 専攻	2	84	-	168	修士 (工学)	1. 13	1. 13	-	令和2	同上	
(博士前期課程)					,_,,						
情報・メディア工学 専攻	2	-	-	-	修士 ^(工学)	-	-	-	平成15	同上	令和2年度より学生 集停止
(博士前期課程)											
建築建設工学専攻	2	-	-	-	修士 ^(エ学)	-	-	-	平成15	同上	令和2年度より学生 集停止
(博士前期課程)											A = · · · · · · ·
物理工学専攻 (博士前期課程)	2	-	_	-	修士 (エ学)	-	-	_	平成15	同上	令和2年度より学生 集停止
	_				修士						令和2年度より学生
知能システム工学専攻 (博士前期課程)	2	-	_	-	16 工 (工学)	_	_	_	平成15	同上	集停止
繊維先端工学専攻	2	_	_	_	修士	_	_	_	平成25	同上	令和2年度より学生
一概維先端上字等以 (博士前期課程)	2	_		-	(工学)	_	_		十八八25	旧上	集停止
原子力・エネルギー	2	_	_	_	修士	_	_	_	平成16	同上	令和2年度より学生
安全工学専攻(博士前期課程)					(工学)				,,,,,,		集停止
I		İ	i İ			I	I	I	I	I	I

総合創成工学専攻 (博士後期課程)	3	22	-	66	博士 (エ学)	0. 87	0. 90	-	平成25	同上	
国際地域マネジメン ト研究科 国際地域 マネジメント専攻 (専門職学位課程)	2	7	ı	14	国際地域マネジメント修士 (専門職)	1. 14	1. 14	-	令和2	福井県福井市文京 3 丁目 9 番 1 号	

- (注)・本調査の対象となっている大学等の設置者が既に設置している全ての大学(大学院含む)、短期大学及び 高等専門学校についてそれぞれの学校ごとに、報告年度の5月1日現在の状況を記入してください。 (専攻科及び別科を除く)。なお、調査対象の学科等が設置されている大学から順に記載してください
 - ・学部の学科または研究科の専攻等、「入学定員を定めている組織」ごとに全ての組織を記入してください。 ※「入学定員を定めている組織」ごとには、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている 場合を含めます。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
 - ・<u>本年度AC対象となる学部等については、必ず下線を引いてください</u>。
 - ・「平均入学定員超過率」には、報告年度(令和3年度)から起算した修業年限に相当する期間の 入学定員超過率の平均を記載してください。
 - ・「備考」の欄については、学年進行中の入学定員の増減や学生募集停止など、収容定員に影響のある情報を 記入してください。

<工学研究科 安全社会基盤工学専攻>

【 認可時又は届出時】から【 令和3 年度】までの表が1 ページの幅に入るように設定していますので、セルの列の幅は変えないでください。なお、5 年以上の修業年限の学部等や完成年度後の報告で、6 つ以上の表を報告しなければならない場合はご相談ください。

(1)一① 担当教員表

_	国:	担当教員表 立大学法人 福井大学		【令和	02年	度】		【令和	3年	隻 】
専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等		専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	3	専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名				担当授業科目名				担当授業科目名
		太田 淳一 <令和2年4月> 工学博士				太田 淳一 <令和2年4月> 工学博士				
専	教授	安全社会基盤工学特別演習及び 実験 I 安全社会基盤工学特別演習及び 実験 II 安全社会基盤工学ゼミナール I 安全社会基盤工学ゼミナール II エネルギー概論 ※ エネルギー輸送 (研究指導)		専	教授	安全社会基盤工学特別演習及び実験 I 安全社会基盤工学特別演習及び実験 I 安全社会基盤工学ゼミナール I 安全社会基盤工学ゼミナール I エネルギー概論 ※ エネルギー輸送 (研究指導)				
		鞍谷 文保	ŀ			鞍谷 文保	ŀ			鞍谷 文保
		<令和2年4月> 工学博士				<令和2年4月> 工学博士				<令和2年4月> 工学博士
専	教授	安全社会基盤工学特別演習及び 実験 I 安全社会基盤工学特別演習及び 実験 I 安全社会基盤工学ゼミナール I 安全社会基盤工学ゼミナール I 安全社会基盤工学ゼミナール I 安全設計概論 ※ 構造振動解析 (研究指導)		専	教授	安全社会基盤工学特別演習及び実験 I 安全社会基盤工学特別演習及び実験 I 安全社会基盤工学ゼミナール I 安全社会基盤工学ゼミナール I 安全社会基盤工学ゼミナール I 安全社会基盤工学ゼミナール I 安全社会基盤工学ゼミナール I 安全社会基盤工学ゼミナール I 安全設計概論 ※ 構造振動解析 (研究指導)		専	教授	安全社会基盤工学特別演習 及び実験 I 安全社会基盤工学特別演習 及び実験 II 安全社会基盤工学ゼミナー ル I 安全社会基盤工学ゼミナー ル I 安全社会基盤工学ゼミナー ル I 安全社会基盤工学ゼミナー ル I 安全社会基盤工学ゼミナー ル I 安全計概論 、 構造振動解析 (研究指導)
		永井 二郎 <令和2年4月> 博士(工学)	-			永井 二郎 <令和2年4月> 博士(工学)				永井 二郎 <令和2年4月> 博士(工学)
専	教授	安全社会基盤工学特別演習及び 実験 I 安全社会基盤工学特別演習及び 実験 I 安全社会基盤工学ゼミナール I 安全社会基盤工学ゼミナポ義 II 安全社会基盤工学特別講義 II 安全社会基盤工学特別講義 II 安全社会基盤工学特別 安全社会基盤工学		専	教授	安全社会基盤工学特別演習及び実験I安全社会基盤工学特別演習及び実験社会基盤工学特別演習と対象を主要を主要を主要を主要を主要を主要を主要を主要を主要を主要を主要を主要を主要を		専	教授	安全社会基盤工学特別演習 習習を主要を主要を主要を主要を主要を主要を主要を主要を主要を主要を主要を主要を主要を
		山田 泰弘	ŀ			山田 泰弘	ŀ			山田 泰弘
專	教授	< 令和2年4月> 博士(工学) 安全社会基盤工学特別演習及び 実験 I 安全社会基盤工学特別演習及び 実験 II 安全社会基盤工学ゼミナール I 安全社会基盤工学ゼミナール I 安全社会基盤工学ゼミナール I 安全設計概論 ※ 機械システム工学 (研究指導)		申	教授	<令和2年4月> 博士(工学) 安全社会基盤工学特別演習及び実験 I 安全社会基盤工学特別演習及び実験 I 安全社会基盤工学ゼミナール I 安全社会基盤工学ゼミナール I 安全社会基盤工学ゼミナール I 安全社会基盤工学ゼミナール II 安全社会基盤工学ゼミナール II 安全設計概論 ※ 機械システム(研究指導)		専	教授	< 令和2年4月> 博士(工学) 安全社会基盤工学特別演習及び実験 I 安全社会基盤工学特別演習及び実験 I 安全社会基盤工学 せきナール I 安全社会基盤工学 ゼミナール I 安全社会基盤工学 ゼミナール I 安全計概論 ※機械システム I 供所究指導)
専	教授	小原 敦美 < 令和2年4月> 博士(工学) 安全社会基盤工学特別演習及び実験 I 安全社会基盤工学特別演習及び実験 I 安全社会基盤工学特別演習及び実験 II 安全社会基盤工学ゼミナール I 安全社会基盤工学ゼミナール I 安全社会基盤工学ゼミナール II エネルギー概論		専	教授	小原 敦美 < 令和2年4月> 博士(工学) 安全社会基盤工学特別演習及び実験 I 安全社会基盤工学特別演習及び実験 I 安全社会基盤工学特別演習及び実験 I 安全社会基盤工学ゼミナール I 安全社会基盤工学ゼミナール I 安全社会基盤工学ゼミナール I		専	教授	小原 敦美 < 令和2年4月> 博士(工学) 安全社会基盤工学特別演習及び実験 I 安全社会基盤工学特別演習及び実験 I 安全社会基盤工学も別演習及び実験 I 安全社会基盤工学ゼミナール I 安全社会基盤工学ゼミナール I 安全社会基盤工学ゼミナール I アンドル I
		システム制御論 (研究指導) 葛原 正明 <令和2年4月> 工学博士				エネルギー概論 ※ システム制御論 (研究指導)				エネルギー概論 ※ システム制御論 (研究指導)
専	教授	工字博士 安全社会基盤工学特別演習及び 実験 I 安全社会基盤工学特別演習及び 実験 II 安全社会基盤工学ゼミナール I 安全社会基盤工学ゼミナール I 安全社会基盤工学ゼミナール I 守全社会基盤工学ゼミナール I (研究指導)								

専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
専	教授	担当授業科目名 橋本 明弘 < 令和2年4月> 工学博士 安全社会基盤工学特別演習及び実験I 安全社会基盤工学特別演習及び実験I 安全社会基盤工学・サールI 安全社会基盤エ学・ゼミナールI 安全社会基盤エ学・ゼミナールI 安全社会基盤エ学・ボッル・ボットル・ボット・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	専	教授	担当授業科目名 橋本 明弘 < 令和2年4月> 工学博士 安全社会基盤工学特別演習及び実験 I 安全社会基盤工学特別演習及び実験 I 安全社会基盤工学特別演習及び実験 I 安全社会基盤工学ゼミナール I 安全社会基盤工学ゼミナール I マーボー概論 ※ エネルギー概論 ※ エネルギー調	専	教授	担当授業科目名 橋本 明弘 < 令和2年4月> 工学博士 安全社会基盤工学特別演習及び主社会基盤工学特別演習及全社会基盤工学特別演習及全社会基盤工学ゼミナールI安全社会基盤工学ゼミナールエネルギー概論 ※エネルギーの発情
專	教授	廣瀬 勝一 《令和2年4月> 博士(工学) 安全社会基盤工学特別演習及び 実験 I 安全社会基盤工学特別演習及び 実験 I 安全社会基盤工学・サール I 安全社会基盤工学・ゼミナール I 安全社会基盤工学・ゼミナール I 安全社会基盤エ学・ブラボニール II な会インフラ概論 ※ 暗号と情報セキュリティ (研究指導)	専	教授	廣瀬 勝一 <令和2年4月> 博士(工学) 安全社会基盤工学特別演習及び実験 I 安全社会基盤工学特別演習及び実験 II 安全社会基盤工学・サリ演習及び実験 II 安全社会基盤工学・ゼミナール I 安全社会基盤工学・ゼミナール II 社会インフラ概論 ※ 暗号と情報セキュリティ (研究指導)	専	教授	廣瀬 勝一 〈令和2年4月〉 博士(工学) 安全社会基盤工学特別演習及び実験 I 安全社会基盤工学特別演習及び実験 I 安全社会基盤工学特別演習及び実験 I 安全社会基盤工学ゼミナール I 安全社会基盤工学ゼミナール I 安全社会基盤工学ゼミナール I 安全社会基盤工学ゼミナール I 安全社会基盤工学ゼミナール I で会社会基盤工学ゼミナール I で会社会基盤工学ゼミナール I で会社会基盤工学ゼミナール I で会社会基盤工学ゼミナール I での表情報である。
専	教授	福井 一俊 〈令和2年4月〉 博士(理学) 安全社会基盤工学特別演習及び 実験 I 安全社会基盤工学特別演習及び 実験 II 安全社会基盤工学ゼミナール I 安全社会基盤工学ゼミナール I 安全社会基盤工学ゼミナール I 安全社会基盤工学ゼミナール I 安全社会基盤工学ゼミナール I でアキュール II	専	教授	福井 一俊 < 令和2年4月> 博士(理学) 安全社会基盤工学特別演習及び実験 I 安全社会基盤工学特別演習及び実験 I 安全社会基盤工学特別演習及び実験 I 安全社会基盤工学ゼミナール I 安全社会基盤工学ゼミナール II 電子物性特論 (研究指導)	専	教授	福井 一俊 〈令和2年4月〉 博士(理学) 安全社会基盤工学特別演習 及び実験 I 安全社会基盤工学特別演習 及び実験 I 安全社会基盤工学特別演習 及び実験 I 安全社会基盤工学ゼミナー ル I 安全社会基盤工学ゼミナー ル I 安全社会基盤工学ゼミナー ル I 安全社会基盤工学ゼミナー の方式
専	教授	明石 行生 < 令和2年4月> 博士 (工学) 安全社会基盤工学特別演習及び実験 I 安全社会基盤工学特別演習及び実験 I 安全社会基盤工学特別演習及び実験 II 安全社会基盤工学ゼミナール I 安全社会基盤工学ゼミナール I 安全社会基盤工学ゼミナール I 安全計会基盤工学ゼミナール I 安全計会基盤工学ゼミナール I 安全計長計概論 (研究指導)	専	教授	明石 行生 < 令和2年4月> 博士(工学) 安全社会基盤工学特別演習及び実験 I 安全社会基盤工学特別演習及び実験 II 安全社会基盤工学ゼミナール I 安全社会基盤工学ゼミナール I 安全社会基盤工学ゼミナール I 安全社会基盤工学ゼミナール II 安全社会基盤工学ゼミナール II 安全計概論 ※ 光環境工学特論 (研究指導)	專	教授	明石 行生 < 令和2年4月> 博士 (工学) 安全社会基盤工学特別演習 及び実験 I 安全社会基盤工学特別演習 及び実験 I 安全社会基盤工学特別演習 及び実験 I 安全社会基盤工学ゼミナー ル I 安全社会基盤工学ゼミナー ル I 安全社会基盤工学ゼミナー ル I 安全社会基盤工学ゼミナー ル I 安全社会基盤工学ゼミナー の方式の表現の表現の表現の表現の表現の表現の表現の表現の表現の表現の表現の表現の表現の
専	教授	石川 浩一郎 < 令和2年4月> 工学博士 安全社会基盤工学特別演習及び実験 I 安全社会基盤工学特別演習及び実験 I 安全社会基盤工学特別演習及び実験 I 安全社会基盤工学ゼミナール I 安全社会基盤工学ゼミナール I 安全社会基盤工学ゼミナール I 安全会設計概論 ※ 建築耐震構造解析学 (研究指導)	専	教授	石川 浩一郎 < 令和2年4月> 工学博士 安全社会基盤工学特別演習及び実験 I 安全社会基盤工学特別演習及び実験 I 安全社会基盤工学特別演習及び実験 I 安全社会基盤工学ゼミナール I 安全社会基盤工学ゼミナール I 安全社会基盤工学ゼミナール I 安全社会基盤工学ゼミナール I 安全社会基盤工学ゼミナール I 安全社会基盤工学ゼミナール I 安全社会基盤工学ゼミナール I 安全社会基盤工学ゼミナール II 安全計概論 ※ 建築耐震構造解析学 (研究指導)	専	教授	石川 浩一郎 < 令和2年4月> 工学博士 安全社会基盤工学特別演習及び実験 I 安全社会基盤工学特別演習及び実験 I 安全社会基盤工学 サ別演習及立実験 I 安全社会基盤工学ゼミナール I 安全社会基盤工学 I 安全社会基础工学 I 安全社会工学 I 安全社会基础工学 I 安全社会基础工学 I 安全社会工学
專	教授	磯 雅人 <令和2年4月> 博士(工学) 安全社会基盤工学特別演習及び 実験 I 安全社会基盤工学特別演習及び 実験 I 安全社会基盤工学特別演習及び 実験 I 安全社会基盤工学ゼミナール I 安全社会基盤工学ゼミナール I 安全社会基盤工学ゼミナール I 安全社会基盤工学ゼミナール I 安全計機論 ※ 建築構造設計学 (研究指導)	専	教授	機 雅人 <令和2年4月> 博士(工学) 安全社会基盤工学特別演習及び実験 I 安全社会基盤工学特別演習及び実験 I 安全社会基盤工学特別演習及び実験 II 安全社会基盤工学ゼミナール I 安全社会基盤工学ゼミナール I 安全社会基盤工学ゼミナール II 安全社会基盤工学ゼミナール II 安全社会基盤工学ゼミナール II 安全設計概論 ※ 建築構造設計学 (研究指導)	専	教授	磯 雅人 <令和2年4月> 博士(工学) 安全社会基盤工学特別演習及び実験I安全社会基盤工学特別演習及び実験I安全社会基盤工学特別演習及な主会基盤工学ゼミナールI安全社会基盤工学ゼミナール日安全社会基盤工学ゼミナール日安全社会基盤工学ゼミナール日安全社会基盤工学ゼミナール日安全社会基盤工学ゼミナール日安全計概論 ※ 建築構造設計概論 (研究指導)
専	教授	小嶋 啓介 <令和2年4月> 工学博士 安全社会基盤工学特別演習及び 実験 I 安全社会基盤工学特別演習及び 実験 I 安全社会基盤工学ゼミナール I 安全社会基盤工学ゼミナール I 安全社会基盤工学・サール I	専	教授	小嶋 啓介 < 令和2年4月> 工学博士 安全社会基盤工学特別演習及び実験 I 安全社会基盤工学特別演習及び実験 I 安全社会基盤工学特別演習及び実験 I 安全社会基盤工学ゼミナール I 安全社会基盤工学ゼミナール II 社会インフラ概論 ※ 地震工学特論 (研究指導)	専	教授	小嶋 啓介 < 令和2年4月> 工学博士 安全社会基盤工学特別演習及び実験 I 安全社会基盤工学特別演習及び実験 I 安全社会基盤工学特別演習及び実験 I 安全社会基盤工学ゼミナール I 大学特論 I 「研究指導)

専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	熊 熊	算任・ 使担・ 使任 O別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名				担当授業科目名			担当授業科目名
		野嶋 慎二				野嶋(慎二			野嶋(慎二
		<令和2年4月> 博士(工学)				<令和2年4月> 博士(工学)			<令和2年4月> 博士(工学)
専	教授	安全社会基盤工学特別演習及び 実験 I 安全社会基盤工学特別演習及び 実験 II 安全社会基盤工学ゼミナール I 安全社会基盤工学ゼミナール I 安全社会基盤工学ゼミナール I 社会インフラ概論 ※ 都市計画特論 (研究指導)		専	教授	安全社会基盤工学特別演習及び実験 I 安全社会基盤工学特別演習及び実験 I 安全社会基盤工学ゼミナール I 安全社会基盤工学ゼミナール I 田 会子社会基盤工学ゼミナール I 日 会子社会基盤工学ゼミナール I 日 会子ンフラ概論 ※ 都市計画特論 (研究指導)	専	教授	安全社会基盤工学特別演習 及び実験 I 安全社会基盤工学特別演習 及び実験 II 安全社会基盤工学ゼミナー ル I 安全社会基盤工学ゼミナー ル I 女全社会基盤工学ゼミナー ル I 社会インフラ概論 ※ 都市計画特論 (研究指導)
		川本 義海 <令和2年4月> 博士(工学)				川本 義海 <令和2年4月> 博士(工学)			川本 義海 <令和2年4月> 博士(工学)
専	教授	安全社会基盤工学特別演習及び 実験 I 安全社会基盤工学特別演習及び 実験 II 安全社会基盤工学ゼミナール I 安全社会基盤工学ゼミナール I 安全社会基盤工学ゼミナール I 安全社会基盤工学ゼミカール 原子力の安全性と地域共生 ※ 安全設計概論 ※ 交通論 (研究指導)		専	教授	安全社会基盤工学特別演習及び実験 I 安全社会基盤工学特別演習及び実験 I 安全社会基盤工学ゼミナール I 安全社会基盤工学ゼミナール I 安全社会基盤工学ゼミナール II 原子力の安全性と地域共生 ※ 安全設計概論 ※ 交通論 (研究指導)	専	教授	安全社会基盤工学特別演習 及び実験 I 安全社会基盤工学特別演習 及び実験 II 安全社会基盤工学ゼミナー ル I 安全社会基盤工学ゼミナー ル I 安全社会基盤工学ゼミナー 原子力の安全性と地域共生 ※ 安全設計概論 ※ 交通論 (研究指導)
		桑水流 理 <令和2年4月> 博士(工学)				桑水流 理 <令和2年4月> 博士(工学)			桑水流 理 <令和2年4月> 博士(工学)
専	教授	安全社会基盤工学特別演習及び 実験 I 安全社会基盤工学特別演習及び 実験 I 安全社会基盤工学ゼミナールル 安全社会基盤工学ゼミュールルル 安全社会基盤工学基礎 I 安全主工学基礎 I ラント安全生性と設計 原子力のプランージメント概論 (研究指導)		専	教授	安全社会基盤工学特別演習及び実験 I 安全社会基盤工学特別演習及び実験 I 安全社会基盤工学特別演習及び実験 I 安全社会基盤工学ゼミナール I 安全社会基盤工学ゼミナール I プラント安全エ学基礎 I プラント安全工学基礎 I アチカカの安全性と地域共生 I アチカフィージメント概論 アチカフネージメント概論 (研究指導)	専	教授	安全社会基盤工学特別演習 及び実験 I 安全社会基盤工学特別演習 安全社会基盤工学 持別演習 安全社会基盤工学 ゼミション ディー マッチ を 全 エーター エーター アーカー アーカー アーカー アーカー アーカー アーカー アーカー ア
		玉川 洋一 <令和2年4月>				玉川 洋一 <令和2年4月>			玉川 洋一 <令和2年4月>
専	教授	理学博士 安全社会基盤工学特別演習及び実験 I 安全社会基盤工学特別演習及び実験 I 安全社会基盤工学特別演習及び実験 I 安全社会基盤工学ゼミナール I 安全社会基盤工学ゼミナール I 放射線基礎 I ※ 放射線物理学・計測学 ※ 放射線利用 ※ 原子力工学基礎 I ※ (研究指導)		専	教授	理学博士 安全社会基盤工学特別演習及び実験 I 安全社会基盤工学特別演習及び実験 I 安全社会基盤工学ゼミナール I 安全社会基盤工学ゼミナール II 安全社会基盤工学ゼミナール II 放射線基礎 I ※ 放射線物理学・計測学 ※ 放射線利用 ※ 原子力工学基礎 I ※ (研究指導)	専	教授	理学博士 安全社会基盤工学特別演習 及び実験 I 安全社会基盤工学特別演習 及び実験 I 安全社会基盤工学ゼミナー ル I 安全社会基盤工学ゼミナー ル I 安全社会基盤工学ゼミナー ル I 放射線基礎 I ※ 放射線物理学・計測学 ※ 放射線利用 ※ 原子力工学基礎 I ※ (研究指導)
		飯井 俊行 <令和2年4月> 博士(工学)				飯井 俊行 <令和2年4月> 博士(工学)			飯井 俊行 <令和2年4月> 博士(工学)
専	教授	安全社会基盤工学特別演習及び 実験 I 安全社会基盤工学特別演習及び 実験 II 安全社会基盤工学ゼミナール I 安全社会基盤工学ゼミナール I 安全社会基盤工学ゼミナール I 安全設計概論 ※ 破壊力学 破壊力学 破壊力学実習 (研究指導)		専	教授	安全社会基盤工学特別演習及び実験 I 安全社会基盤工学特別演習及び実験 II 安全社会基盤工学ゼミナール I 安全社会基盤工学ゼミナール II 安全社会基盤工学ゼミナール II 安全設計概論 ※ 破壊力学 破壊力学実習 (研究指導)	専	教授	安全社会基盤工学特別演習 及び実験 I 安全社会基盤工学特別演習 及び実験 II 安全社会基盤工学ゼミナー ル I 安全社会基盤工学ゼミナー ル I 安全社会基盤工学ゼミナー ル II 安全設計概論 ※ 破壊力学 破壊力学 で変指導)

	r 22						古げ、		I
職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等		専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等		専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
	担当授業科目名				担当授業科目名				担当授業科目名
	有田 裕二 <令和2年4月> 博士(工学)				有田 裕二 <令和2年4月> 博士(工学)				有田 裕二 <令和2年4月> 博士(工学)
教授	安全社会基盤工学特別演習及び実験 I 安全社会基盤工学特別演習及び実会基盤工学特別演習及び実会主会基盤工学ででは、I 安全社会会基盤工学では、I アールル I アールルル I アールル I アールル I アールル I アールル I アールル I アールル I アールル I アールルル I アールル I アールルル I アールルル I アールルル I アールルルル I アールルルルル I アールルルルルル I アールルルルルルル I アールルルルルルルルルル		専	教授	安全社会基盤工学特別演習及び実験 I 安全社会基盤工学特別演習及び字全社会基盤工学特別演習及び字全社会基盤工学ゼミナール I 安全社会基盤工学ゼミナール I 安全社会基盤工学ゼミナール I テ子炉システージ 基礎 II アティージャー アナージャー アナー アナー アナー アナー アナー アナー アナー アナー アナー アナ		専	教授	安全な 安全が 大会基 な会基 な会 を会 を会 を会 を会 を会 を会 を会 を会 を会 を
	泉 佳伸 <令和2年4月> 博士(工学)				泉 佳伸 <令和2年4月> 博士(工学)	-			泉 佳伸 <令和2年4月> 博士(工学)
教授	安全社会基盤工学特別演習及び 実験 I 安全社会基盤工学特別演習及び 実験 II 安全社会基盤工学ゼミナール I 安全社会基盤工学ゼミナール I 放射線基礎 I 放射化学特論 放射線化学・生物学特論 放射線利用学基礎 I ※ (研究指導)		中	教授	安全社会基盤工学特別演習及 び実験 I 安全社会基盤工学特別演習及 び実験 E 安全社会基盤工学ゼミナール I 安全社会基盤工学ゼミナール I 放射線基礎 I 放射化学特論 放射線化学・生物学特論 放射線利工学・生物学特論 放射線利工学・ (研究指導)		中	教授	安全社会基盤工学特別演習 及び実験 I 安全社会基盤工学特別演習 及び実験基盤工学特別演習 安全社会基盤工学ゼミナー 以射線基礎 I 放射線基礎 I 放射線と学・生物学特論 放射線 1 放射線 1 放射線 1 次射線 次射 1 次射 1 次射 1 次射 1 次射 1 次射 1 次射
	宇埜 正美 <令和2年4月> 工学博士				宇埜 正美 <令和 2 年 4 月> 工学博士				宇埜 正美 <令和2年4月> 工学博士
教授	安全社会基盤工学特別演習及び 実験 I 安全社会基盤工学特別演習及び 実験 I 安全社会基盤工学ゼミナール I 安全社会基盤工学ゼミナール I 原子炉システム基礎 I ※ 原子炉システム基 ※ 原子炉システム基 で 原子炉システム基 で 原子炉システム基 で 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「 、 、 、 、 、 、 、 、		中	教授	安全社会基盤工学特別演習及び実験 I 安全社会基盤工学特別演習及び実験 I 安全社会基盤工学ゼミナール I 安全社会基盤工学ゼミナール I 安全社会基盤工学ゼミナール I アチ炉システム基礎 I ※ 原子炉システム基礎 I ※ 核燃 メント概論 ※ リスクマネージメント概論 ※ アナカエ学基礎 I ※ (研究指導)		専	教授	安全社会基盤工学特別演習 及び実験 I 安全社会基盤工学特別演習 及び実験基盤工学特別演習 安全社会基盤工学ゼミナー 安全社会基盤工学ゼミナー 原子炉システム基礎 I 原子炉システム基礎 I 原子炉システム基礎 I 原子炉システム基礎 I 原子炉 ジステム基 W リスクマネージメント概論 スクマネージメント概論 アカエ学基礎 I の子究 I の子究 I の子究 I の子の I の子の I の子の I の子の I の子の I の子の I の子の I の子の I の子の I の子の I の子の I の I の I の I の I の I の I の I の I の I
	福元 謙一 <令和2年4月> 博士(工学)				福元 謙一 <令和2年4月> 博士(工学)				福元 謙一 <令和2年4月> 博士(工学)
教授	安全社会基盤工学特別演習及び 実験 I 安全社会基盤工学特別演習及び 実験 II 安全社会基盤工学ゼミナール I 安全社会基盤工学ゼミナール 原子炉システム基礎 II ※ 原子・カ材料・一ジメント概論 リスクマキ基礎 I ※ 原子カエ学等は ※ 原子カエ学等は ※ の子カエ学等は (研究指導)		中	教授	安全社会基盤工学特別演習及び実験 I 安全社会基盤工学特別演習及び実験 I 安全社会基盤工学ゼミナール I 安全社会基盤工学ゼミナール I 安全社会基盤工学ゼミナール I アテンステム基礎 I ※ 原子ナージメント概論 I 原子カオキージメント概論 I ※ 原子力なる基礎 I 原子カオキージメント概論 I 所子力工学基礎 I ※ 原子カ指導)		専	教授	安全社会基盤工学特別演習 及び実験 I 安全社会基盤工学特別演習 安全社会基盤工学特別演習 安全社会基盤工学ゼミナー 安全社会基盤工学ゼミナー 安全社会基盤工学ゼミナー 安全社会基盤工学ゼミナー 安全社会基盤工学ゼミナー (マール・アンステクターをは、アンステクターをは、アンステクターをは、アンステクターをは、アンステクターをは、アンステクターをは、アンスのアクスのアクスのアクスのアクスのアクスのアクスのアクスのアクスのアクスのアク
	安田 仲宏 <令和2年4月> 博士(理学)				安田 仲宏 <令和2年4月> 博士(理学)				安田 仲宏 <令和2年4月> 博士(理学)
教授	安全社会基盤工学特別演習及び 実験 I 安全社会基盤工学特別演習及び 実験 II 安全社会基盤工学ゼミナール I 安全社会基盤工学ゼミナール I 原子力規制 放射線基礎 I ※ 原子力防災特論 ※ 放射線利用学基礎 I ※ (研究指導)		専	教授	安全社会基盤工学特別演習及び実験 I 安全社会基盤工学特別演習及び実験 I 安全社会基盤工学特別演習及び実験 E 安全社会基盤工学ゼミナール I 安全社会基盤工学ゼミナール I 原子力規制 放射線基礎 I 放子力防災特論 次原子力線利 原子力線基礎 I 次原子力線利 原子力線表礎 I 次原子力線利 次原子力に		中	教授	安全社会基盤工学特別演習 安全社会基盤工学特別演習 安全社実験 I
	教 教 授	大学 1	## 1	大田 1 1 1 1 1 1 1 1 1	上海	## 1	理当院薬科目名 有田 和二	展示すし等	## 1 # 1 # 1 # 1 # 1 # 1 # 1 # 1 # 1 #

+ 1-	1			+			-		_	
専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等		専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	兼 兼	任担任別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名				担当授業科目名				担当授業科目名
		渡辺 正 <令和2年4月> 博士(工学)				渡辺 正 <令和2年4月> 博士(工学)				渡辺 正 <令和2年4月> 博士(工学)
専	教授	安全社会基盤工学特別演習及び 実験 I 安全社会基盤工学特別演習及び 実験 II 安全社会基盤工学ゼミナール I 安全社会基盤工学ゼミナール II 原子炉システム基礎 I ※ 原子炉システム基礎 I ※ 熱水力安全工学 ※ リスクマネージメント概論 ※ (研究指導)		専	教授	安全社会基盤工学特別演習及び実験 I 安全社会基盤工学特別演習及び実験 I 安全社会基盤工学ゼミナール I 安全社会基盤工学ゼミナール I 安全社会基盤工学ゼミナール I 原子炉システム基礎 I ※ 原子炉システム基 W I 原子炉システム基 W リスクマネージメント概論 ※ (研究指導)		専	教授	安全社会基盤工学特別演習 及び実験 I 安全社会基盤工学特別演習 及び実験 I 安全社会基盤工学ゼミナール 文全社会基盤工学ゼミナール 安全社会基盤工学ゼミナール 京子炉システム基礎 I 原子炉システム基礎 I 原子炉システム基 ※ リスクマネージメント概論 リスクマネージメント概論 (研究指導)
専	教授	沖 昌也 <令和2年4月> 博士(理学)		専	教授	沖 昌也 <令和2年4月> 博士(理学)				
		長期インターンシップ				長期インターンシップ				
	4/L 1	高木 丈夫 <令和2年4月> 理学博士			4/1.1	高木 丈夫 <令和2年4月> 理学博士		±	4/L 1	高木 丈夫 <令和2年4月> 理学博士
専	教授	大学院海外短期インターンシップ I 大学院海外短期インターンシップ II		専	教授	大学院海外短期インターン シップ I 大学院海外短期インターン シップ II		専	教授	大学院海外短期インターン シップ I 大学院海外短期インターン シップ II
専	教授	小西 慶幸 <令和2年4月> 博士(理学)		専	教授	小西 慶幸 <令和2年4月> 博士(理学)		車	教授	小西 慶幸 <令和2年4月> 博士(理学)
4	70.10	生命複合科学特論Ⅱ ※		4	7010	生命複合科学特論 II ※		4	4X1X	生命複合科学特論 II ※
								専	教授	藤元 美俊 <令和3年4月> 博士 (工学)
								₹	秋文	長期インターンシップ
		太田 貴士 <令和2年4月> 博士(工学)				太田 貴士 <令和2年4月> 博士(工学)				太田 貴士 <令和2年4月> 博士(工学)
専	准教 授	安全社会基盤工学特別演習及び 実験 I 安全社会基盤工学特別演習及び 実験 II 安全社会基盤工学ゼミナール I 安全社会基盤工学ゼミナール I 安全社会基盤工学ゼミナール I 安全社会基盤工学ゼミナール I		専	准教 授	安全社会基盤工学特別演習及び実験 I 安全社会基盤工学特別演習及び実験 II 安全社会基盤工学ゼミナール I 安全社会基盤工学ゼミナール I 安全社会基盤工学ゼミナール II		専		安全社会基盤工学特別演習 及び実験 I 安全社会基盤工学特別演習 及び実験 II 安全社会基盤工学ゼミナー ル I 安全社会基盤工学ゼミナー ル I
		数値流体力学 (研究指導) 川井 昌之				エネルギー概論 ※ 数値流体力学 (研究指導) 川井 昌之				エネルギー概論 ※ 数値流体力学 (研究指導) 川井 昌之
		ペラ和2年4月> 博士(工学)				ペラ和2年4月> 博士(工学)				ペラ和2年4月> 博士 (工学)
専		安全社会基盤工学特別演習及び 実験 I 安全社会基盤工学特別演習及び 実験 II 安全社会基盤工学ゼミナール I 安全社会基盤工学ゼミナール II 安全社会基盤工学ゼミナール II 安全設計概論 ※ ロボット工学 (研究指導)		ቀ	准教 授	安全社会基盤工学特別演習及び実験 I 安全社会基盤工学特別演習及び実験 I 安全社会基盤工学ゼミナール I 安全社会基盤工学ゼミナール I 安全社会基盤工学ゼミナール I 安全設計概論 ※ ロボット工学 (研究指導)		申	准教 授	安全社会基盤工学特別演習 及び実験 I 安全社会基盤工学特別演習 及び実験 II 安全社会基盤工学ゼミナー ル I 安全社会基盤工学ゼミナー ル I 安全社会基盤工学ゼミナー ル I 安全社会基盤工学ゼミナー の の の の で の の の の の の の の の の の の の の
		川谷 売治 <令和2年4月> 工学博士				川谷 売治 <令和 2 年 4 月> 工学博士				川谷 亮治 <令和2年4月> 工学博士
専	准教 授	安全社会基盤工学特別演習及び 実験 I 安全社会基盤工学特別演習及び 実験 II 安全社会基盤工学ゼミナール I 安全社会基盤工学ゼミナール II 安全社会基盤工学ゼミナール II 安全設計概論 ※ 計算機援用制御系設計 (研究指導)		専	准教 授	安全社会基盤工学特別演習及 び実験 I 安全社会基盤工学特別演習及 び実験 II 安全社会基盤工学ゼミナール I 安全社会基盤工学ゼミナール II 安全社会基盤工学ゼミナール II 安全設計概論 ※ 計算機援用制御系設計 (研究指導)		専	准教 授	安全社会基盤工学特別演習 及び実験 I 安全社会基盤工学特別演習 及び実験 II 安全社会基盤工学ゼミナー ル I 安全社会基盤工学ゼミナー ル II 安全社会基盤工学ゼミナー ル II 安全設計概論 ※ 計算機援用制御系設計 (研究指導)

亩バ			1	宙に	1		Г	亩/ こ		I
専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等		専任・ 兼担・ の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等		専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名				担当授業科目名				担当授業科目名
		酒井 康行				酒井 康行	Ī			酒井 康行
		<令和2年4月> 博士(工学)				<令和2年4月> 博士(工学)				<令和2年4月> 博士(工学)
専		安全社会基盤工学特別演習及び 実験 I 安全社会基盤工学特別演習及び 実験 II 安全社会基盤工学ゼミナール I 安全社会基盤工学ゼミナール I 安全社会基盤工学ゼミナール I 安全社会基盤工学ゼミナール I 安全社会基盤工学ゼミナール I 安全社会基盤工学ゼミナール I 安全社会基盤工学ゼミナール I		専	准教 授	安全社会基盤工学特別演習及び実験 I 安全社会基盤工学特別演習及び実験 II 安全社会基盤工学ゼミナール I 安全社会基盤工学ゼミナール II エネルギー概論 ※ 燃焼工学 (研究指導)		兼任	講師	燃焼工学
		田中 太				田中太	ı			田中 太
		<令和2年4月> 博士(工学)				<令和2年4月> 博士(工学)				<令和2年4月> 博士(工学)
専	准教 授	安全社会基盤工学特別演習及び 実験 I 安全社会基盤工学特別演習及び 実験 II 安全社会基盤工学ゼミナール I 安全社会基盤工学ゼミナール II 安全社会基盤工学ゼミナール II 安全社会基盤工学ゼミナール II 文全なの熱流体工学 (研究指導)		專	准教 授	安全社会基盤工学特別演習及び実験 I 安全社会基盤工学特別演習及び実験 II 安全社会基盤工学ゼミナール I 安全社会基盤工学ゼミナール II エネルギー概論 ※ 安全安心の熱流体工学 (研究指導)		専	教授	安全社会基盤工学特別演習 及び実験 I 安全社会基盤工学特別演習 及び実験 II 安全社会基盤工学ゼミナー ル I 安全社会基盤工学ゼミナー ル I 安全社会基盤工学ゼミナー ル II エネルギー概論 ※ 安全安心の熱流体工学 (研究指導)
		王 栄龍 <令和2年4月> 博士(工学)				王 栄龍 <令和2年4月> 博士(工学)				王 栄龍 <令和2年4月> 博士(工学)
専	准教 授	安全社会基盤工学特別演習及び 実験 I 安全社会基盤工学特別演習及び 実験 II 安全社会基盤工学ゼミナール I 安全社会基盤工学ゼミナール II 安全社会基盤工学ゼミナール II 社会インフラ概論 ※ システム工学特論 (研究指導)		専	准教 授	安全社会基盤工学特別演習及び実験 I 安全社会基盤工学特別演習及び実験 I 安全社会基盤工学特別演習及び実験 II 安全社会基盤工学ゼミナール I 安全社会基盤工学ゼミナール II 社会インフラ概論 ※ システム工学特論 (研究指導)		ቀ	准教 授	安全社会基盤工学特別演習 及び実験 I 安全社会基盤工学特別演習 及び実験 I 安全社会基盤工学ゼミナー ル I 安全社会基盤工学ゼミナー ル I 安全社会基盤工学ゼミナー ル I 社会インフラ概論 システム工学特論 (研究指導)
		坂口 文則 <令和2年4月>				坂口 文則				坂口 文則 <令和2年4月>
專	准教 授	工学博士 安全社会基盤工学特別演習及び実験 I 安全社会基盤工学特別演習及び実験 I 安全社会基盤工学ゼミナール I 安全社会基盤工学ゼミナール I 安全社会基盤工学ゼミナール I 社会インフラ概論 ※ 信号処理特論 (研究指導)		專	准教 授	工学博士 安全社会基盤工学特別演習及び実験 I 安全社会基盤工学特別演習及び実験 II 安全社会基盤工学ゼミナール I 安全社会基盤工学ゼミナール I 安全社会基盤工学ゼミナール II 社会インフラ概論 ※ 信号処理特論 (研究指導)		専	准教 授	工学博士 安全社会基盤工学特別演習及び実験 I 安全社会基盤工学特別演習及び実験 I 安全社会基盤工学ゼミナール I 安全社会基盤工学ゼミナール I 安全社会基盤工学ゼミナール I 社会インフラ概論 ※ 信号処理特論 (研究指導)
		茂呂 征一郎				茂呂 征一郎				茂呂 征一郎 <令和2年4月>
専		博士(工学) 安全社会基盤工学特別演習及び実験 I 安全社会基盤工学特別演習及び実験 I 安全社会基盤工学特別演習及び実験 I 安全社会基盤工学ゼミナール I 安全社会基盤工学ゼミナール II 社会インフラ概論 ※ 回路・システム論 (研究指導)		専	准教 授	博士(工学) 安全社会基盤工学特別演習及び実験 I 安全社会基盤工学特別演習及び実験 I 安全社会基盤工学特別演習及び実験 II 安全社会基盤工学ゼミナール I 安全社会基盤工学ゼミナール II 社会インフラ概論 ※ 回路・システム論 (研究指導)		専		博士(工学) 安全社会基盤工学特別演習及び実験 I 安全社会基盤工学特別演習及び実験 I 安全社会基盤工学特別演習及び実験 I 安全社会基盤工学ゼミナール I 安全社会基盤工学ゼミナール I 安全社会基盤工学ゼミナール I 安全社会基盤工学ゼミナール I (研究指導)
		木村 欣司 <令和2年4月> 博士 (理学)				木村 欣司 <令和2年4月>				木村 欣司 <令和2年4月>
專		博士(理学) 安全社会基盤工学特別演習及び実験 I 安全社会基盤工学特別演習及び実験 I 安全社会基盤工学特別演習及び実験 I 安全社会基盤工学ゼミナール I 安全社会基盤工学ゼミナール I 安全社会基盤工学ゼミナール I 対会インフラ概論 ※ 計算科学 (研究指導)		專	准教 授	博士(理学) 安全社会基盤工学特別演習及び実験 I 安全社会基盤工学特別演習及び実験 I 安全社会基盤工学ゼミナール I 安全社会基盤工学ゼミナール I 安全社会基盤工学ゼミナール I 対会インフラ概論 ※ 計算科学 (研究指導)		専	准教 授	博士(理学) 安全社会基盤工学特別演習及び実験 I 安全社会基盤工学特別演習及び実験 I 安全社会基盤工学特別演習及び実験 I 安全社会基盤工学ゼミナール I 安全社会基盤工学ゼミナール I 安全社会基盤工学ゼミナール I 対会インフラ概論 ※ 計算科学 (研究指導)

専任・	I	1	専任・	1	 	専任	. 1	4
専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任 兼担 兼任 の別	I	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名
		伊藤 雅一 <令和2年4月> 博士(工学)			伊藤 雅一 <令和2年4月> 博士(工学)			伊藤 雅一 <令和2年4月> 博士(工学)
專	准教 授	安全社会基盤工学特別演習及び実験 I 実験 I 安全社会基盤工学特別演習及び 実験 II 安全社会基盤工学ゼミナール I 安全社会基盤工学ゼミナール I 安全社会基盤工学ゼミナール I スネルギー概論 ※ パワーエレクトロニクス特論 (研究指導)	専	准教 授	安全社会基盤工学特別演習及び実験 I 安全社会基盤工学特別演習及び実験 I 安全社会基盤工学ゼミナール I 安全社会基盤工学ゼミナール I 安全社会基盤工学ゼミナール I エネルギー概論 ※ パワーエレクトロニクス特論 (研究指導)	専	准教 授	安全社会基盤工学特別演習 及び実験 I 安全社会基盤工学特別演習 及び主会基盤工学ゼミナー ル I 安全社会基盤工学ゼミナー 安全社会基盤エ学ゼミナー ルエネルギー概論 ※ パウトロニクス特 論 (研究指導)
		Asubar Joel Tacla <令和2年4月> 博士(工学)			Asubar Joel Tacla <令和2年4月> 博士(工学)			Asubar Joel Tacla <令和2年4月> 博士(工学)
専	准教 授	安全社会基盤工学特別演習及び 実験 I 安全社会基盤工学特別演習及び 実験 II 安全社会基盤工学ゼミナール I 安全社会基盤工学ゼミナール II (研究指導)	専	准教 授	安全社会基盤工学特別演習及び実験 I 安全社会基盤工学特別演習及び実験 II 安全社会基盤工学ゼミナール I 安全社会基盤工学ゼミナール I 半導体デバイス (研究指導)	専	准教 授	安全社会基盤工学特別演習及び実験 I 安全社会基盤工学特別演習及び実験 I 安全社会基盤工学ゼミナール I 安全社会基盤工学ゼミナール I 安全社会基盤工学ゼミナール I 安全社会基盤工学ゼミナール I (研究指導)
		井上 圭一 <令和2年4月> 博士(工学)			井上 圭一 <令和2年4月> 博士(工学)			井上 圭一 <令和2年4月> 博士(工学)
専	准教 授	安全社会基盤工学特別演習及び 実験 I 安全社会基盤工学特別演習及び 実験 II 安全社会基盤工学ゼミナール I 安全社会基盤工学ゼミナール I 安全社会基盤工学ゼミナール I 安全社会基盤工学ゼミナール I 安全社会 A と で で で で で で で で で で で で で で で で で で	専	准教 授	安全社会基盤工学特別演習及び実験 I 安全社会基盤工学特別演習及び実験 I 安全社会基盤工学ゼミナール I 安全社会基盤工学ゼミナール I 安全社会基盤工学ゼミナール I 社会インフラ概論 ※ 建築弾塑性力学 (研究指導)	専	准教 授	安全社会基盤工学特別演習 及び実験 I 安全社会基盤工学特別演習 及び実験 I 安全社会基盤工学ゼミナー ルエ 安全社会基盤工学ゼミナー ルコ マ全社会基盤工学ゼミナー は会インフラ概論 ※ 建築弾塑性力学 (研究指導)
		菊地 吉信 <令和2年4月> 博士(工学)			菊地 吉信 <令和 2 年 4 月> 博士 (工学)			菊地 吉信 <令和2年4月> 博士(工学)
專		安全社会基盤工学特別演習及び 実験 I 安全社会基盤工学特別演習及び 実験 II 安全社会基盤工学ゼミナール I 安全社会基盤工学ゼミナール I 安全社会基盤工学ゼミナール I 安全社会基盤工学・ボミナール I 安全社会 II	專	准教 授	安全社会基盤工学特別演習及び実験 I 安全社会基盤工学特別演習及び実験 I 安全社会基盤工学特別演習及び実験 I 安全社会基盤工学ゼミナール I 安全社会基盤工学ゼミナール I 安全社会基盤工学ゼミナール I 社会インフラ概論 ※ 都市論 (研究指導)	專	准教 授	安全社会基盤工学特別演習 及び実験 I 安全社会基盤工学特別演習 及び実験 I 安全社会基盤工学ゼミナー ルテンプラー な主社会基盤工学ゼミナー ルテンプラー は会する では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、
		木曽(本多)久美子			木曽(本多)久美子			
専	准教 授	博士(工学) 社会インフラ概論 ※ 建築計画学特論	専	准教 授	博士(工学) 社会インフラ概論 ※ 建築計画学特論			
		鈴木 啓悟 <令和2年4月> 博士(工学)			鈴木 啓悟 <令和2年4月> 博士(工学)			鈴木 啓悟 < 令和 2 年 4 月 > 博士 (工学)
専	准教 授	安全社会基盤工学特別演習及び 実験 I 安全社会基盤工学特別演習及び 実験 II 安全社会基盤工学ゼミナール I 安全社会基盤工学ゼミナール I 安全社会基盤工学ゼミナール I 大会インフラ概論 ※ 土木構造特論 原子力の安全性と地域共生 ※ (研究指導)	専	准教 授	安全社会基盤工学特別演習及び実験 I 安全社会基盤工学特別演習及び実験 I 安全社会基盤工学ゼミナール I 安全社会基盤工学ゼミナール I 安全社会基盤工学ゼミナール I 社会インフラ概論 ※ 土木構造特論 原子力の安全性と地域共生 ※ (研究指導)	専	准教 授	安全社会基盤工学特別演習 安全社会基盤工学特別演習 及安全社会基盤工学特別演習 安全社会基盤工学ゼミナー 安全社会基盤工学ゼミナー 公会基盤工学ゼミナー 社会本構力の表 大学で表 大学である。 大学である 大学である 大学である 大学である 大学である 大学である 大学である 大学である 大学である 大学である 大学である 大学である 大学である 大学である 大学でのな 大学である 大学である 大学である 大学である 大学でも 大学である 大学である 大学である 大学である 大学である 大学である 大学である 大学でも 大学である 大学である 大学である 大学である 大学でも 大学である 大学である 大学である 大学ではな 大学では 大学でも 大学でも 大学では 大学でも 大学でも 大学では 大学でも 大学 大学 大学 大学 大学 大学 大学 大学 大学 大学 大学 大学 大学
		原田(山形)陽子 <令和2年4月> 博士(芸術工学)			原田(山形)陽子 <令和2年4月> 博士(芸術工学)			原田(山形)陽子 <令和2年4月> 博士(芸術工学)
専	准教 授	安全社会基盤工学特別演習及び 実験 I 安全社会基盤工学特別演習及び 実験 II 安全社会基盤工学ゼミナール I 安全社会基盤工学ゼミナール I 安全社会基盤工学・ 対会インフラ概論 ※ 建築都市計画特論 (研究指導)	専	准教 授	安全社会基盤工学特別演習及び実験 I 安全社会基盤工学特別演習及び実験 I 安全社会基盤工学ゼミナール I 安全社会基盤工学ゼミナール I 安全社会基盤工学ゼミナール I 社会インフラ概論 ※ 建築都市計画特論 (研究指導)	専	准教 授	安全社会基盤工学特別演習 及び実験 I 安全社会基盤工学特別演習 及び実験 I 安全社会基盤工学ゼミナー ルマ全社会基盤工学ゼミナー な全社会基盤エ学ゼミナー は会本を基盤工学ゼミナー は会本をはなる基盤である。 は、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では

+ 1-	1		+ -	_		+ -		
専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名
		川崎 大介 <令和2年4月> Ph. D. (米国)			川崎 大介 <令和2年4月> Ph. D. (米国)			川崎 大介 <令和2年4月> Ph. D. (米国)
専	准教 授	安全社会基盤工学特別演習及び実験 I 実験 I 安全社会基盤工学特別演習及び実験 I 安全社会基盤工学ゼミナール I 安全社会基盤工学ゼミナール I 安全社会基盤工学ゼミナール I 大会基盤 I ※ 7 ラント安全エ学基礎 I ※ 7 フラントマネージメント マネージメント マネージメント マネージメント で	専	講師	安全社会基盤工学特別演習及び実全社員工学特別演習及び実全社員工学特別演習及び実全社員工学が表別演習のアントンを主要をは、カー・アン・アン・アン・アン・アン・アン・アン・アン・アン・アン・アン・アン・アン・	専	講師	安全社会基盤工学特別演習 安全社会基盤工学特別演習 安全社実験基盤工学特別演習 安全社実験会基盤工学ゼミン学・センター・マールを基準を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を
		大堀 道広 <令和2年4月> 博士(工学)			大堀 道広 <令和2年4月> 博士(工学)			大堀 道広 <令和2年4月> 博士(工学)
専		安全社会基盤工学特別演習及び実験 I 安全社会基盤工学特別演習及び実験 I 安全社会基盤工学ゼミナール I 安全社会基盤工学ゼミナール I 安全社会基盤工学ゼミナール I 安全社会基盤工学・を・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	専	准教 授	安全社会基盤工学特別演習及び実験 I 安全社会基盤工学特別演習及び安全社会基盤工学特別演習及び安全支票を主要を担けます。 エック マック マック アンク アンク アンク アンク アンク アンク アンク アンク アンク アン	専	准教 授	安全社会基盤工学特別演習 安全社会基盤工学特別演習 安全社会基盤工学特別演習 安全で実社会基盤工学ゼミナナー 安全社社会基盤工学ゼミナナーー マー・ファイン・ファイン・ファイン・ファイン・ファイン・ファイン・ファイン・ファイン
		Van Rooijen Willem Frederik Geert <令和2年4月> Ph.D. (蘭国)			Van Rooijen Willem Frederik Geert <令和2年4月> Ph.D. (蘭国)			Van Rooijen Willem Frederik Geert <令和2年4月> Ph.D. (蘭国)
専	准教 授	安全社会基盤工学特別演習及び 実験 I 安全社会基盤工学特別演習及び 実験 II 安全社会基盤工学ゼミナール II 安全社会基盤工学ゼミナール II 原子炉システム基礎 I ※ 原子炉システム基礎 I ※ 原子炉実習 原子炉物理学 次世代炉システム ※ リスクマネージメント概論 ※ (研究指導)	専	准教 授	安全社会基盤工学特別演習及び実全社会 I 安全社会 I 安全社会 I 安全社会 I 安全 I 安全 I 安全 I 安全 I 安全 I 安全 I 安全 I 安	専	准教 授	安全社会基盤工学特別演習 安全社会基盤工学特別演習 及全社実験 I 安全社会 基盤工学特別演習 及全社主会基盤工学ゼミニー 安全社会 基盤工学ゼミニールテークシステークシステークシステークシステークシステークリンスージャーのでは、 一次のでは、 一次の
専	准教 授	寺田 聡 < 令和2年4月> 博士(工学) 生命複合科学特論 I ※ PBLI	専	准教 授	寺田 聡	専	准教 授	寺田 聡 < 令和2年4月> 博士(工学) 生命複合科学特論 I ※ PBLI
		PBLI			PBLI			PBLII 伊藤 慎吾 <令和3年4月> Dr. techn.
						專	准教 授	安全社会基盤工学特別演習 及び実験 I 安全社会基盤工学特別演習 及び実験 II 安全社会基盤工学ゼミナー ル I 安全社会基盤工学ゼミナー ル I 安全社会基盤工学ゼミナー ル I (研究指導)
								党 超鋲 <令和3年4月> 博士(工学)
						専	准教 授	安全社会基盤工学特別演習 及び実験 I 安全社会基盤工学特別演習 及び実験 II 安全社会基盤工学ゼミナー ル I 安全社会基盤工学ゼミナー ル II エネルギー輸送 (研究指導)

まに			また		1	また	1	T
専任・ 兼担・ の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任 兼担 兼任 の別		氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名
		福島 啓悟			福島 啓悟			福島 啓悟
専	講師	博士(工学) エネルギー概論 ※ 統計力学	専	講師	博士 (工学) エネルギー概論 ※ 統計力学	専	講師	博士 (工学) エネルギー概論 ※ 統計力学
		吉田 達哉 <令和2年4月> 博士(工学)			吉田 達哉 <令和2年4月> 博士(工学)			吉田 達哉 <令和2年4月> 博士(工学)
専	講師	安全設計概論 ※機械動力学	専	講師	安全設計概論 ※機械動力学	専	准教 授	安全社会基盤工学特別演習 及び実験 I 安全社会基盤工学特別演習 及び実験 I 安全社会基盤工学ゼミナー ル I 安全社会基盤工学ゼミナー ル I 安全社会基盤工学ゼミナー ル I 安全社会基盤工学ゼミナー 機械動力学 (研究指導)
		西本 雅人 <令和2年4月> 博士(工学)			西本 雅人 <令和2年4月> 博士(工学)			西本 雅人 <令和2年4月> 博士(工学)
専	講師	建築インターンシップ 安全設計概論 ※ 建築都市設計論	専	講師	建築インターンシップ 安全設計概論 ※ 建築都市設計論	専	講師	安全社会基盤工学特別演習 及び実験I 安全社会基盤工学特別演習 及全社実験I 安全社会基盤工学ゼミナー 安全社会基盤エ学ゼミナー 安全社 コーシップ 全社会基盤 エデザゼミナー は実全計概計 は実全では、アンシップ は、アンシー は、アン は、アン は、アン は、アン は、アン は、アン と、アン は、アン は、アン は、アン は、アン は、アン は、アン は、アン は
		藤本 明宏 <令和2年4月> 博士(工学)			藤本 明宏 <令和2年4月> 博士(工学)			藤本 明宏 <令和2年4月> 博士(工学)
専	講師	安全社会基盤工学特別演習及び 実験 I 安全社会基盤工学特別演習及び 実験 II 安全社会基盤工学ゼミナール I 安全社会基盤工学ゼミナール I 安全社会基盤工学ゼミナール II 安全設計概論 ※ 地盤解析学 (研究指導)	専	講師	安全社会基盤工学特別演習及び実験 I 安全社会基盤工学特別演習及び実験 I 安全社会基盤工学特別演習及び実験会基盤工学ゼミナール I 安全社会基盤工学ゼミナール II 安全設計概論 ※ 地盤解析学 (研究指導)	専	准教 授	安全社会基盤工学特別演習 及び実験 I 安全社会基盤工学特別演習 及び実験 I 安全社会基盤工学ゼミナー 以上 安全社会基盤工学ゼミナー 安全社会基盤工学ゼミナー 安全設計概論 ※ 地盤解析学 い研究指導)
		本間 礼人			本間 礼人			本間 礼人
専	講師	博士(工学) 社会インフラ概論 ※ 構造材料学	専	講師	博士(工学) 社会インフラ概論 ※ 構造材料学	専	講師	博士(工学) 社会インフラ概論 ※ 構造材料学
		桃井 良尚 <令和2年4月> 博士(工学)			桃井 良尚 <令和2年4月> 博士(工学)			桃井 良尚 <令和2年4月> 博士(工学)
専	講師	安全社会基盤工学特別演習及び 実験 I 安全社会基盤工学特別演習及び 実験 I 安全社会基盤工学ゼミナール I 安全社会基盤工学ゼミナール I 安全社会基盤工学ゼミナール I 安全設計概論 ※ 建築換気力学 (研究指導)	専	講師	安全社会基盤工学特別演習及び実験 I 安全社会基盤工学特別演習及び実験 I 安全社会基盤工学ゼミナール I 安全社会基盤工学ゼミナール I 安全社会基盤工学ゼミナール B 安全社会基盤工学ゼミナール は 安全社会基盤工学ゼミナール は 安全設計概論 と と と と と と と と と と と と と と と と と と と	専	講師	安全社会基盤工学特別演習 及び実験 I 安全社会基盤工学特別演習 及び主社会基盤工学ゼミナー ル I 安全社会基盤工学ゼミナー 安全社会基盤工学ゼミナー 安全社計概論 ※ 建築気 (研究指導)
		山田 岳晴 <令和2年4月> 博士(文学)			山田 岳晴 <令和2年4月> 博士(文学)			山田 岳晴 <令和2年4月> 博士(文学)
専	講師	安全社会基盤工学特別演習及び 実験 I 安全社会基盤工学特別演習及び 実験 II 安全社会基盤工学ゼミナール I 安全社会基盤工学ゼミナール II 安全社会基盤工学ゼミナール II 社会インフラ概論 ※ 日本建築史特論 (研究指導)	専	講師	安全社会基盤工学特別演習及び実験 I 安全社会基盤工学特別演習及び実験 I 安全社会基盤工学ゼミナール I 安全社会基盤工学ゼミナール I 安全社会基盤工学ゼミナール I 社会インフラ概論 ※ 日本建築史特論 (研究指導)	専	講師	安全社会基盤工学特別演習 及び実験 I 安全社会基盤工学特別演習 及び主義 B 安全社会基盤工学ゼミナー ル I 安全社会基盤工学ゼミナー 社会基盤エ学ゼミナー 社会本建築 リフラ概論 (研究指導)

兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	-	専任・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ り り り り り り り り り り	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名				担当授業科目名
		中島 恭平			中島 恭平	ſ			中島 恭平
		<令和2年4月> 博士(理学)			<令和2年4月> 博士(理学)				<令和2年4月> 博士(理学)
専	講師	安全社会基盤工学特別演習及び 実験 I 安全社会基盤工学特別演習及び 実験 II 安全社会基盤工学ゼミナール I 安全社会基盤工学ゼミナール II 原子炉実習 放射線物理学・計測学 ※ 原子力工学基礎 I ※ (研究指導)	専	講師	安全社会基盤工学特別演習及 び実験 I 安全社会基盤工学特別演習及 び実験 II 安全社会基盤工学ゼミナール I 安全社会基盤工学ゼミナール II 原子炉実習 放射線物理学・計測学 ※ 原子力工学基礎 I ※ (研究指導)		専	講師	安全社会基盤工学特別演習 及び実験 I 安全社会基盤工学特別演習 及び実験 II 安全社会基盤工学ゼミナー ル I 安全社会基盤工学ゼミナー ル I 安全社会基盤工学ゼミナー 原子炉実習 放射線物理学・計測学 原子力工学基礎 I ※ (研究指導)
		松尾 陽一郎			松尾 陽一郎	f			松尾 陽一郎
		<令和2年4月> 博士(工学)			<令和2年4月> 博士(工学)				<令和2年4月> 博士(工学)
専	講師	安全社会基盤工学特別演習及び 実験 I 安全社会基盤工学特別演習及び 実験 I 安全社会基盤工学ゼミナール I 安全社会基盤工学ゼミナール I 安全社会基盤工学ゼミナール ※ 放射線基礎 I ※ 放射線化学・生物学特論 ※ 放射線利工学基礎 I ※ (研究指導)	専	准教 授	安全社会基盤工学特別演習及び実験 I 安全社会基盤工学特別演習及び全社会基盤工学特別演習及び実験社会基盤工学ゼミナール I 安全社会基盤工学ゼミナール I リック		専	准教 授	安全社会基盤工学特別演習 安全社会基盤工学特別演習 安全社会基盤工学特別演習 安全社会基盤工学ゼミナー 安全工学ゼミナー 安全工学ゼミナー 安全工学ゼミナー 明末の一一 が射線を関する が対象を表する が、が対象を表する が、が、が対象を表する が、が、が、が、が、が、が、が、が、が、が、が、が、が、が、が、が、が、が、
		田邉 英彦			田邉 英彦				田邉 英彦
専	助教	<令和2年4月> 博士(工学)	専	助教	<令和2年4月> 博士(工学)		専	助教	<令和2年4月> 博士(工学)
		社会インフラ概論 ※ 計算機工学特論			社会インフラ概論 ※ 計算機工学特論				社会インフラ概論 ※ 計算機工学特論
		重信 颯人			重信 颯人 <令和2年4月>				重信 颯人
専	助教	マ令和2年4月> 博士(工学) 安全社会基盤工学特別演習及び 実験 I 安全社会基盤工学特別演習及び 実験 I 安全社会基盤工学ゼミナール I 安全社会基盤工学ゼミナール I 安全社会基盤工学ゼミナール I 安全社会基盤工学ゼミナール I (研究指導)		助教	博士(工学) 安全社会基盤工学特別演習及び実験 I 安全社会基盤工学特別演習及び実験 I 安全社会基盤工学ゼミナール I 安全社会基盤工学ゼミナール I 安全社会基盤工学ゼミナール I エネルギー概論 ※ 電力システム (研究指導)	専	専	助教	博士(工学) 安全社会基盤工学特別演習及び実験 I 安全社会基盤工学特別演習及び実験 II 安全社会基盤工学ゼミナール I 安全社会基盤工学ゼミナール I 安全社会基盤工学ゼミナール I 安全社会基盤工学ゼミナーの I エネルギー概論 ※ 電力システム (研究指導)
		寺崎 寛章 <令和2年4月>			寺﨑 寛章 <令和2年4月>				寺崎 寛章 <令和2年4月>
専	助教	博士(工学) 博士(工学) 安全設計概論 ※ 環境水理学	専	助教	博士(工学) 安全設計概論 ※ 環境水理学		専	許	博士 (工学) 安全社会基盤工学特別演習及び実験 I 安全社会基盤工学特別演習及び実験 I 安全社会基盤工学ゼミナール I 安全社会基盤工学ゼミナール I 安全社会基盤工学ゼミナール I 安全社会基盤工学ゼミナール I 安全社会基盤工学ゼミナーの安全計概論 ※ 環境水理学 (研究指導)
		浅野 周平			浅野 周平	ľ			浅野 周平
専	助教	< 令和 2 年 4 月 > 博士(工学)	専	助教	<令和2年4月> 博士(工学)		専	助教	<令和2年4月> 博士(工学)
		国土・地域計画特論			国土・地域計画特論				国土・地域計画特論
						ľ			石垣 将宏
									<令和3年4月> 博士(工学)
							専		安全社会基盤工学特別演習 及び実験 I 安全社会基盤工学特別演習 及び実験 I 安全社会基盤工学ゼミナー ル I 安全社会基盤工学ゼミナー ル I (研究指導)

由 /T			古げ	1		古げ		
専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名
兼担	教授	虎尾 憲史 < 令和2年4月> 修士(国際学) 工業日本語特論 I	兼担	教授	虎尾 憲史 < 令和 2 年 4 月 > 修士 (国際学) 工業日本語特論 I	兼担	教授	虎尾 憲史 <令和2年4月> 修士(国際学) 工業日本語特論 I
		工業日本語特論 II 松岡 達 <令和2年4月>			工業日本語特論 II 松岡 達 <令和2年4月>			工業日本語特論Ⅱ 松岡 達 <令和2年4月>
兼担	教授	医学博士 生命複合科学特論 I ※	兼担	教授	医学博士生命複合科学特論 I ※	兼担	教授	医学博士 生命複合科学特論 I ※
兼担	教授	藤井 豊 <令和2年4月> 薬学博士	兼担	教授	藤井 豊 <令和2年4月> 薬学博士	兼任	講師	藤井 豊 <令和2年4月> 薬学博士
		生命複合科学特論 I ※ 菅井 学			生命複合科学特論 I ※ 菅井 学			生命複合科学特論 I ※ 菅井 学
兼担	教授	<令和2年4月> 博士(医学)	兼担	教授	<令和2年4月> 博士(医学)	兼担	教授	<令和2年4月> 博士(医学)
		生命複合科学特論 I ※ 松本 英樹			生命複合科学特論 I ※ 松本 英樹			生命複合科学特論 I ※ 松本 英樹
兼担	教授	<令和2年4月> 博士(医学) 生命複合科学特論 I ※	兼担	教授	<令和2年4月> 博士(医学) 生命複合科学特論 I ※	兼任	講師	<令和2年4月> 博士(医学) 生命複合科学特論 I ※
兼担	教授	安倍 博 <令和2年4月> 医学博士	兼担	教授	安倍 博 <令和2年4月> 医学博士	兼担	教授	安倍 博 <令和2年4月> 医学博士
		生命複合科学特論 I ※ 石塚 全			生命複合科学特論 I ※ 石塚 全			生命複合科学特論 I ※ 石塚 全
兼担	教授	イ塚 主 <令和2年4月> 博士(医学)	兼担	教授	イ塚 主 <令和2年4月> 博士(医学)	兼担	教授	イ塚 主 <令和2年4月> 博士(医学)
		生命複合科学特論 I ※ 青木 耕史 <令和2年4月>			生命複合科学特論 I ※ 青木 耕史 <令和2年4月>			生命複合科学特論 I ※ 青木 耕史 <令和2年4月>
兼担	教授	博士 (医学) 生命複合科学特論 I ※	兼担	教授	博士 (医学) 生命複合科学特論 I ※	兼担	教授	博士 (医学) 生命複合科学特論 I ※
兼担	教授	山田 雅己 <令和2年10月> 博士(医学)	兼担	教授	山田 雅己 <令和2年10月> 博士(医学)	兼担	教授	山田 雅己 <令和2年10月> 博士(医学)
		生命複合科学特論 II ※ 大嶋 勇成			生命複合科学特論 II ※ 大嶋 勇成			生命複合科学特論Ⅱ ※ 大嶋 勇成
兼担	教授	<令和2年10月> 博士(医学) 生命複合科学特論Ⅱ ※	兼担	教授	<令和2年10月> 博士(医学) 生命複合科学特論Ⅱ ※	兼担	教授	<令和2年10月> 博士(医学) 生命複合科学特論Ⅱ ※
		深澤 有吾			深澤有吾			深澤 有吾
兼担	教授	<令和2年10月> 博士(理学) 生命複合科学特論Ⅱ ※	兼担	教授	<令和2年10月> 博士(理学) 生命複合科学特論Ⅱ ※	兼担	教授	<令和2年10月> 博士(理学) 生命複合科学特論Ⅱ ※
		生命複合科字特論 1 ※			生命複合科字特論 II ※ 松﨑 秀夫 <令和2年10月>			坐命複合科字符論Ⅱ ※ 松﨑 秀夫 <令和2年10月>
兼担	教授	マラ和2年10月> 博士(医学) 生命複合科学特論Ⅱ ※	兼担	教授	マラ和2年10月> 博士(医学) 生命複合科学特論 II ※	兼担	教授	(予和2年10月) 博士(医学) 生命複合科学特論Ⅱ ※
					小林 基弘 <令和2年10月>			小林 基弘 <令和2年10月>
			兼担	教授	博士 (医学) 生命複合科学特論 II ※	兼担	教授	博士 (医学) 生命複合科学特論 II ※

* <i>I</i>			= <i>r</i>	_	1	士に		1
専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名
					菊田 健一郎			菊田 健一郎
			兼担	教授	<令和2年10月> 博士(医学)	兼担	教授	<令和2年10月> 博士(医学)
					生命複合科学特論Ⅱ ※			生命複合科学特論Ⅱ ※
		牧野 顕			牧野 顕			牧野 顕
東担	准教	<令和2年4月> 博士(工学)	兼担	准教	<令和2年4月> 博士(工学)	兼担	准教	<令和2年4月> 博士(工学)
:担	授	生命複合科学特論 I ※	兼担	授	生命複合科学特論 I ※	来 担	授	生命複合科学特論 I ※
		西住 裕文			西住 裕文			西住 裕文
	`#+ ##-	<令和2年4月> 博士(医学)		₩ ₩	<令和2年4月> 博士(医学)		`#- #h-	 <令和2年4月> 博士(医学)
担	准教 授		兼担	准教 授		兼担	准教 授	
		生命複合科学特論 I ※			生命複合科学特論 I ※			生命複合科学特論 I ※
		千原 一泰 <令和2年4月>			千原 一泰 <令和2年4月>			千原 一泰 <令和2年4月>
担	准教 授	博士(パイオサイエンス)	兼担	准教 授	博士(バイオサイエンス)	兼担	准教 授	博士(バイオサイエンス)
		生命複合科学特論 I ※			生命複合科学特論 I ※			生命複合科学特論 I ※
_		法木 左近						
		<令和2年4月>						
担	准教 授	医学博士 生命複合科学特論 I ※						
		工叩後百行子行酬工						
		西沢御			西沢徹			西沢御
<u> </u>	准教	<令和2年4月> 博士(理学)	兼担	教授	<令和2年4月> 博士(理学)	兼担	教授	<令和2年4月> 博士(理学)
	授	生命複合科学特論 I ※			生命複合科学特論 I ※			生命複合科学特論 I ※
		德永 暁憲			德永 暁憲			德永 暁憲
		<令和2年10月> 博士(医学)		344 #44	<令和2年10月> 博士(医学)		14. +/L	< 令和 2 年10月> 博士 (医学)
	准教 授	生命複合科学特論 I ※	兼担	准教 授 	生命複合科学特論 II ※	兼担	准教 授	生命複合科学特論 II ※
		北井 隆平						
		<令和2年10月>						
1	准教 授	博士(医学)						
		生命複合科学特論Ⅱ ※						
		成田憲彦			成田 憲彦			成田 憲彦
∄	准教	<令和2年10月> 博士(医学)	兼担	准教	<令和2年10月> 博士(医学)	兼担	准教	<令和2年10月> 博士(医学)
•	授	生命複合科学特論Ⅱ ※	本担	授	生命複合科学特論Ⅱ ※	本担	授	生命複合科学特論Ⅱ ※
_		小久保 安朗			小久保 安朗			小久保 安朗
	γ <u>μ</u> .±ι_	<令和2年10月> 博士(医学)		<i>14.</i> +1	<令和2年10月> 博士(医学)		₩ #L	<令和2年10月> 博士(医学)
	准教 授	生命複合科学特論Ⅱ ※	兼担	准教 授	生命複合科学特論Ⅱ ※	兼担	准教 授	生命複合科学特論 II ※
1		折坂 誠			折坂 誠			折坂 誠
		が収 iii <令和2年10月>			折圾 談 <令和2年10月>			
	講師	博士(医学)	兼担	講師	博士(医学)	兼担	講師	博士(医学)
		生命複合科学特論Ⅱ ※			生命複合科学特論Ⅱ ※			生命複合科学特論Ⅱ ※
		竹内 健司			竹内 健司			竹内 健司
		<令和2年4月> 博士(医学)	****		<令和2年4月> 博士(医学)	* 10	51 ±1.	<令和2年4月> 博士(医学)
	-1 40		兼担	助教		兼担	助教	
	助教	生命複合科学特論 I ※			生命複合科学特論 I ※			生命複合科学特論 I ※
_	助教	生命複合科学特論 I ※ 本田 信治			生命複合科学特論 I ※ 本田 信治			生命複合科学特論 I ※ 本田 信治
担	助教	本田 信治 <令和2年10月>			本田 信治			本田 信治 <令和2年4月>
- 田 - 田 - 田	助教助教	本田 信治	兼担	助教	本田 信治	兼担	助教	本田 信治

<u></u>								
専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名
兼担	助教	辻 隆宏 <令和2年10月> 博士(医学) 生命複合科学特論 II ※	兼担	助教	辻 隆宏 < 令和 2 年10月 > 博士 (医学) 生命複合科学特論 II ※	兼担	助教	辻 隆宏 <令和2年10月> 博士(医学) 生命複合科学特論 II ※
兼担	特命助教	島田 浩二 <令和2年10月> 博士(理学)	兼担	助教	島田 浩二 <令和2年10月> 博士(理学)	兼担	助教	島田 浩二 <令和2年10月> 博士(理学)
		生命複合科学特論Ⅱ ※			生命複合科学特論 Ⅱ ※			生命複合科学特論Ⅱ ※
兼担	特命助教	山口 朋子 <令和2年10月> 博士(医学)						
		生命複合科学特論Ⅱ ※			坪川 操 <令和2年10月> 博士(医学)			坪川 操 <令和2年10月> 博士(医学)
			兼担	助教	生命複合科学特論 II ※	兼担	助教	生命複合科学特論Ⅱ ※
						兼担	助教	知野 剛直 <令和3年10月> 博士(医学)
								生命複合科学特論Ⅱ ※
兼任	講師	片山 寛次 <令和2年4月> 医学博士	兼任	講師	片山 寛次 <令和2年4月> 医学博士			
		生命複合科学特論Ⅱ ※			生命複合科学特論Ⅱ ※			
兼任	講師	老木 成稔 <令和2年4月> 医学博士	兼担	特命教授	老木 成稔 <令和2年4月> 医学博士	兼担	特命教授	老木 成稔 <令和2年4月> 医学博士
		生命複合科学特論 I ※		3212	生命複合科学特論 I ※		4×1×	生命複合科学特論 I ※
兼任	講師	菅野 雅代 <令和2年4月> Master of Arts (Major: TESOL)(英国)	兼任	講師	菅野 雅代 <令和2年4月> Master of Arts (Major: TESOL)(英国)	兼任	講師	菅野 雅代 <令和2年4月> Master of Arts (Major: TESOL)(英国)
		科学英語表現 I 科学英語表現 I 科学英語特別講義			科学英語表現 I 科学英語表現 II 科学英語特別講義			科学英語表現 I 科学英語表現 I 科学英語特別講義
兼任	講師	Butler-Tanaka, Paul <令和2年4月> Master of Arts (Major: T.E.F.L)(米国)	兼任	講師	Butler-Tanaka, Paul <令和2年4月> Master of Arts (Major: T.E.F.L)(米国)	兼任	講師	Butler-Tanaka, Paul <令和2年4月> Master of Arts (Major: T.E.F.L)(米国)
		科学英語コミュニケーション I 科学英語コミュニケーション II 科学英語表現 II			科学英語コミュニケーション I 科学英語コミュニケーション II 科学英語表現 II			科学英語コミュニケーショ ン I 科学英語コミュニケーショ ン II 科学英語表現 II
		James Wesley Gray <令和2年4月> 博士(応用言語学)			James Wesley Gray <令和2年4月> 博士(応用言語学)			James Wesley Gray <令和2年4月> 博士(応用言語学)
兼任	講師	科学英語コミュニケーション I 科学英語コミュニケーション II 科学英語特別講義	兼任 	講師	科学英語コミュニケーション I 科学英語コミュニケーション Ⅱ 科学英語特別講義	兼任 	講師	科学英語コミュニケーション I 科学英語コミュニケーション II 科学英語特別講義
		Mihalache Iulia Corina <令和2年4月> 学士(生物物理)			Mihalache Iulia Corina <令和2年4月> 学士(生物物理)			Mihalache Iulia Corina <令和2年4月> 学士(生物物理)
兼任	講師	科学英語コミュニケーション I 科学英語表現 II	兼任	講師	科学英語コミュニケーション I 科学英語表現 II 科学英語コミュニケーション II	兼任	講師	科学英語コミュニケーション I 科学英語表現 II 科学英語コミュニケーション II
		長谷川 和男 <令和2年4月> 工学博士		=# 4-7	長谷川 和男 <令和2年4月> 工学博士	兼任	講師	長谷川 和男 <令和2年4月> 工学博士
兼任	講師		兼任	講師		ボエ	יוים דדו	

専任・ 兼担・ 兼任		氏 名 (年 齢)	専任・ 兼担・ 兼任		氏 名 (年 齢)	専任・ 兼担・ 兼任		氏 名 (年 齢)
の別	職名	<就任(予定)年月> 保有学位等	の別	職名	<就任(予定)年月> 保有学位等	の別	職名	<就任(予定)年月> 保有学位等
	I	担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名
兼任	講師	月森 和之 <令和2年4月> 工学博士	兼任	講師	月森 和之 <令和2年4月> 工学博士	兼任	講師	月森 和之 <令和2年4月> 工学博士
		量子エネルギー応用論 ※			量子エネルギー応用論 ※			量子エネルギー応用論 ※
		辻本 和文			辻本 和文			辻本 和文
兼任	講師	<令和2年4月> 博士(工学)	兼任	講師	<令和2年4月> 博士(工学)	兼任	講師	<令和2年4月> 博士(工学)
		量子エネルギー応用論 ※			量子エネルギー応用論 ※			量子エネルギー応用論 ※
兼任	講師	西原 哲夫 <令和2年4月> 工学博士	兼任	講師	西原 哲夫 <令和2年4月> 工学博士	兼任	講師	西原 哲夫 <令和2年4月> 工学博士
		量子エネルギー応用論 ※			量子エネルギー応用論 ※			量子エネルギー応用論 ※
		吉田 啓之			吉田 啓之			吉田 啓之
兼任	講師	<令和2年4月> 博士(工学)	兼任	講師	<令和2年4月> 博士(工学)	兼任	講師	<令和2年4月> 博士(工学)
		量子エネルギー応用論 ※			量子エネルギー応用論 ※			量子エネルギー応用論 ※
		呉田 昌俊 <令和2年4月> 博士(工学)			呉田 昌俊 <令和2年4月> 博士(工学)			呉田 昌俊 <令和2年4月> 博士(工学)
兼任	講師	母士(エ字) 量子エネルギー応用論 ※	兼任	講師	博士(エ字) 量子エネルギー応用論 ※	兼任	講師	量子エネルギー応用論 ※
		芳賀 芳範			芳賀 芳範			芳賀 芳範
兼任	講師	<令和2年4月> 博士(理学)	兼任	講師	<令和2年4月> 博士(理学)	兼任	講師	<令和2年4月> 博士(理学)
来江	一番 叫	量子エネルギー応用論 ※	米 位	一	量子エネルギー応用論 ※	米 世	再叫	量子エネルギー応用論 ※
兼任	講師	西村 昭彦 <令和2年4月> 工学博士	兼任	講師	西村 昭彦 <令和2年4月> 工学博士	兼任	講師	西村 昭彦 <令和2年4月> 工学博士
		量子エネルギー応用論 ※			量子エネルギー応用論 ※			量子エネルギー応用論 ※
兼任	講師	金子 耕士 <令和2年4月> 博士(理学)	兼任	講師	金子 耕士 <令和2年4月> 博士(理学)	兼任	講師	金子 耕士 <令和2年4月> 博士 (理学)
		量子エネルギー応用論 ※			量子エネルギー応用論 ※			量子エネルギー応用論 ※
**	≘掛るで	村松 壽晴 <令和2年4月> 工学博士	# 1~	■	村松 壽晴 <令和2年4月> 工学博士	* 1	≘載名で	村松 壽晴 <令和2年4月> 工学博士
兼任	講師	量子エネルギー応用論 ※	兼任	講師	量子エネルギー応用論 ※	兼任	講師	量子エネルギー応用論 ※
		井口 幸弘			井口 幸弘			井口 幸弘
兼任	講師	<令和2年4月> 工学博士	兼任	講師	<令和2年4月> 工学博士	兼任	講師	<令和2年4月> 工学博士
		量子エネルギー応用論 ※			量子エネルギー応用論 ※			量子エネルギー応用論 ※
		小山 真一 <令和2年4月>			小山 真一 <令和2年4月>			小山 真一 <令和2年4月>
	講師	博士(工学)	兼任	講師	博士(工学)	兼任	講師	博士(工学)
兼任	יוים ניון	量子エネルギー応田論 ※						一
兼任	Did Dil	量子エネルギー応用論 ※						
兼任	講師	量子エネルギー応用論 ※ 大平 博昭 <令和2年4月> 工学博士	兼任	講師	大平 博昭 <令和2年4月> 工学博士	兼任	講師	大平 博昭 <令和2年4月> 工学博士

専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等 	専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等 担当授業科目名	専任兼法	∄· £	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等 担当授業科目名
兼任	講師	宮原 信哉 <令和2年4月> エ学博士 量子エネルギー応用論 ※	兼任	講師	宮原 信哉 <令和2年4月> 工学博士 量子エネルギー応用論 ※	兼	任	講師	宮原 信哉 <令和2年4月> 工学博士 量子エネルギー応用論 ※
兼任	講師	歌野原 陽一 <令和2年10月> 工学博士 熱水力安全工学 ※	兼任	講師	歌野原 陽一 <令和2年10月> 工学博士 熱水力安全工学 ※	兼	任	講師	歌野原 陽一 <令和2年10月> 工学博士 熱水力安全工学 ※
兼任	講師	福谷 耕司 <令和2年10月> 工学博士 原子カプラント保全工学 ※	兼任	講師	福谷 耕司 <令和2年10月> エ学博士 原子カプラント保全工学 ※	兼	任	講師	福谷 耕司 <令和2年10月> 工学博士 原子カプラント保全工学 ※
兼任	講師	金谷 昌幸 < 令和2年4月> 博士(工学) 原子カプラント保全工学 ※	兼任	講師	釜谷 昌幸 <令和2年4月> 博士(工学) 原子カプラント保全工学 ※	兼	任	講師	金谷 昌幸 < 令和2年4月> 博士(工学) 原子カプラント保全工学 ※

- (注)・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
 - ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。
 - ・ 「認可時又は届出時」には 設置認可時又は届出時の教員全て (兼任, 兼担教員を含む。) を黒字で記入してください。
 - その上で、認可時又は届出時から変更となっている箇所は太字の赤字としてください。
 - 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引き」の「教員名簿」を確認してください。
 - ・ 年齢は、**それぞれの年度の5月1日時点の満年齢**を記入してください。
 - ・ 専任(専門職大学等は専、実専、実(研)、実み)、兼担、兼任の順に記入してください。
 - ・ 不要な年度(平成30年度開設であれば平成29年度)の表は適宜削除し、詰めてください。

(1) - ②担当教員表に関する変更内容

【令和2年度】

・葛原正明教授の退職により、教員を見直し、「安全社会基盤工学特別演習及び実験Ⅰ」、「安全社会基盤工学特別演習及び実験Ⅱ」、「安全社会基盤工学ゼミナールⅠ」、 「安全社会基盤工学ゼミナールⅡ」は複数名で担当のため、他の専任教員で補完し後任なし。

- ・葛原正明教授の退職により、教員を見直し、「半導体デバイス」をAsubar Joel Tacla准教授が担当。
- ・担当教員昇格のため、西沢徹准教授が教授に、松尾陽一郎講師が准教授に変更。
- 事務的ミスが判明したため、川崎大介准教授を講師に訂正。
- ・教育効果向上のため、「科学英語コミュニケーションII」について、Mihalache Iulia Corina兼任教員(講師)が追加担当。
- 教員の退職により兼担教員の授業担当構成を変更。

【令和3年度】

・太田淳一教授、酒井康行准教授の退職により、教員を見直し、「安全社会基盤工学特別演習及び実験Ⅰ」、「安全社会基盤工学特別演習及び実験Ⅱ」、「安全社会基盤工学 ゼミナールⅠ」、「安全社会基盤工学ゼミナールⅡ」は複数名で担当のため、他の専任教員で補完し後任なし。

・吉田達哉准教授、西本雅人講師、寺﨑寛章講師の研究指導担当資格の取得により、教員を見直し、「安全社会基盤工学特別演習及び実験Ⅰ」、「安全社会基盤工学特別演習

- 及び実験 II 」、「安全社会基盤工学ゼミナール I 」、「安全社会基盤工学ゼミナール II 」を追加担当。 ・太田淳一教授、酒井康行准教授の退職により、教員を見直し、「エネルギー概論」は複数名で担当のため、他の専任教員で補完し後任なし。
- ・太田淳一教授の退職により、教員を見直し、「エネルギー輸送」を党超鋲准教授が担当。 ・酒井康行准教授の退職により、「燃焼工学」を兼任教員(講師)として担当。
- ・木曽久美子准教授の退職により、教員を見直し、「社会インフラ概論」は複数名で担当のため、他の専任教員で補完し後任なし。
- ・伊藤慎吾准教授、党超鋲准教授、石垣将宏助教が専任教員に採用。
- ・担当教員昇格のため、田中太准教授が教授に、藤本明宏講師が准教授に、吉田達哉講師が准教授に、寺崎寛章助教が講師に変更。
- ・インターンシップ担当組織の変更に伴い授業担当教員を見直し、「長期インターンシップ」の担当教員を変更。
- 教員の退職により兼担教員、兼任教員の授業担当構成を変更。
- (注)・ 変更内容を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
 - · <u>認可で設置された学部等の専任教員を変更する場合</u>は、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、 大学設置・学校法人審議会による教員資格審査(AC教員審査)を受けてください。AC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。
 - 「専任教員採用等変更書(AC)」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」と記入してください。 なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「教員審査省略」と記入してください。
 - ・ 不要な年度(令和元年度開設であれば平成30年度)の表は適宜削除してください。

(2) 専任教員数等

(2) 一① 設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における 設置基準上の必要研 究指導教員数	うち、完成年度時に おける設置基準上の 必要教授数	完成年度時における 設置基準上の必要研 究指導補助教員数
12	8	0
名	名	名

- (注)・ 大学院に専攻ごとに置くものとする教員の数について定める件(平成十一年九月十四日文部省告示第百七十五号)により 算出される教員数を記入してください。
 - (2) 一② 専任教員等数【大学院】

	Ē	设置 時	の計画	<u> </u>		現在(報告時)の状況							
教授	准教授	講師	助教	計 (A)	助手 (A ')	教 授	准		講	市 助 教	計 (B)	助手 (B')	
27	20	9	4	60	0	26		21	8	4	59	0	
(26)	(20)	(9)	(4)	(59)	(0)								
研究指導教 数	究指導教員 研究指導補助 講義のみ担当 数 教員数 の教員数				研究指導教員 研数		研究指導補助 講教員数		講義のみ担当 の教員数				
51	51 9 0				55		4		0				
[51]] [{	3]	[0]										
	現在(報告時)の	完成年度時	の状況				現在(報告時)	の完成年度時	の計画		
教授	准教授	講師	助教	計 (C)	助手 (C ')	教 授	冶	生教授	講館	助 教	計 (D)	助手 (D')	
26	21	8	4	59	0	26		21	8	4	59	0	
[△1]	[1]	[△1]	[0]	[∆1]	[0]	[∆1]]	1]	[Δ1]	[0]	[△1]	[0]	
研究指導教 数	(員 研究指 教員		義のみ担当 の教員数			研究指導教 数	負	研究指述 教員		講義のみ担当 の教員数			
55	4	1	0			55		4		0			
[4]	[△	.5]	[0]			[4]		[Δ	5]	[0]			

- (注)・「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、()内に開設時の状況を記入してください。
 - ・「現在(報告時)の状況」には、報告年度の5月1日の教員数(実人数)を記入してください。
 - ・<u>「現在(報告時)の完成年度時の状況」には、「現在(報告時)の状況」に記入した数字に、教員審査を受審済みであり、</u> 完成年度までに就任する教員数を加えた数を記入するとともに、 [] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。(記入例:1名減の場合:△1)
 - ・「現在(報告時)の完成年度時の計画」には、予定されている完成年度時の人数を記入するとともに、
 - []内に設置時の計画との増減数を記入してください。(記入例:1名減の場合:△1) ・専門職大学院の場合は、「研究指導教員」を「研究者教員」と、「研究指導補助教員」を「実務家教員」と修正して記入してください。
 - (2) ③ 年齢構成

	年齢構成	
定年規定の定める定 年年齢(歳)		ち、定年を延長して
65	0	0
歳	名	名

- (注)・「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢(特例等による定年年齢ではありません)、 及び、報告年度の5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている 教員数及び完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。
 - ・なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。
 - (2) ④ 設置時の計画に対する教員充足率

現在(報告時)の完成年度時の状況(C) = 59 設置時の計画(A) = 98.33 %

- (注)・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。
 - (2) 一⑤ 現在(報告時)の状況における定年を延長している教員構成率

 報告時の教員のうち、定年を延長して採用している教員数
 =
 0
 59

 現在(報告時)の状況(B)
 59
 59

- (注)・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。
 - (2) 一⑥ 設置時の計画に対する助手充足率

現在(報告時)の完成年度時の状況(C') = 0 = #DIV/0! % 設置時の計画(A') = 0 = #DIV/0! %

(注)・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) 専任教員辞任等の理由

(3) 一① 専任教員の就任辞退(未就任)の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教	員氏名	時期	必修・選択・自由の気	担当予定科目	後任	E補充状況	方	就任辞退	(未	就任)の理日	∄		
					必修	安全社会基盤工学特別演習及び	実験 I	1							
					必修	安全社会基盤工学特別演習及び	実験Ⅱ	1		1					
1	教授	葛原	正明	R2. 3	選択	安全社会基盤工学ゼミナー	-ルI	1	R2. 3. 31付日	R2.3.31付け退職のため就任辞退(2)					
					選択	安全社会基盤工学ゼミナー	−ルⅡ	1							
					選択	半導体デバイス	,	1							
			合計	(D)					後任補充状況	の集計	(E)				
京	优任を辞	退した教	員数	担当科目	関数の合計	(a) + (b) + (c)	①の合	計数(a)	②の合訂	计数(b)		③の合計	数(c)	
				必	修	2 科目	必修	2 ≉	Ⅱ 必修	0	科目	必修	0	科目	
				選	択	3 科目	選択	3 ≉	Ⅱ 選択	0	科目	選択	0	科目	
	1		人	自	由	0 科目	自由	0 ≉	目 自由	0	科目	自由	0	科目	
				Ī	†	5 科目	計	5 ≉	目計	0	科目	計	0	科目	

- (注)・ 認可時又は届出時以降、就任を辞退した全ての専任教員の就任辞退の理由を具体的に記入してください。
 - ・・「就任辞退(未就任)」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことです。 就任した後に辞任した教員は、以下「(3)ー②専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。
 - 昨年度の報告後から今年度の報告時までに専任教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、 「就任辞退(未就任)の理由」に就任辞退の理由等及び()書きで報告年度を記入してください。
 - また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」~「③」から選択し、 「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。
 - ・専任教員が担当する(している)場合は「①」

 - ・兼任兼担教員が担当する(している)場合は「②」 ・後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) 一② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の)別	担当予定科目	後	後任補充状況 辞任等の理由			の理由						
1	准教授	木曽 久美子	R2. 7	選択	社	社会インフラ概論		1)		R2.7.31付け転任のため辞任(3)						
	准叙技	小自 人关于	11. 7	選択	建	築計画学特	論	3)	NZ. 7. 31刊 () 単ム社 () 7.2 (8)点				/計11 (3)			
				必修	安全社	社会基盤工学特別演習及び	実験I	1)								
				必修	安全社	社会基盤工学特別演習及び	実験Ⅱ	1)									
2	准教授	酒井 康行	R3. 3	選択	安全社	社会基盤工学ゼミナー	−ル I	1)		R3 3 314 1 1-	+転任(カため	 			
	准拟汉	冶开 冰门	10.0	選択	安全社	社会基盤工学ゼミナー	−ルⅡ	1)								
				選択	I	エネルギー概論		1									
				選択		燃焼工学		2)								
3	教授	沖 昌也	R3. 3	選択	長期	長期インターンシップ		長期インターンシップ		1			R3.3.31付けインターンシップ担当組織の変更に伴い、授業担当教員を変更したため(3)				
		合計	(F)							後	经任補充状況	の集計	† (G))			
	辞任し	ンた教員数	担当科目	目数の合計	(a) +	(p) + (c)	①のf	①の合計数 (a)②の合計数 (b)③の合計数						十数 (c	;)		
			业	修	2	科目	必修		2	科目	必修	0	科目	必修	0	科目	
			•	択	7	科目	選択		5	科目	選択	1	科目	選択	1	科目	
	3 人 自由 計		3 人 自		0	科目	自由		0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目	
			計		H	9	科目	計		7	科目	計	1	科目	計	1	科目

- (注)・ 一度就任した後に、**定年による退職以外の理由で辞任した全ての専任教員**についてに記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」 に辞任理由等及び()書きで報告年度を記入してください。
 - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」~「③」から選択し、 「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。
 - ・専任教員が担当する(している)場合は「①」
 - ・兼任兼担教員が担当する(している)場合は「②」 ・後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) -③ 上記(3) -①・ (3) -② の合計

	合計 (D) + (F)				後任補充状況の集計 (E) + (G)								
辞任等した教	辞任等した教員数 担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)					①の合計数 (a) ②の合計数 (b)			③の合計	③の合計数 (c)			
		必修	4	科目	必修	4	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	10	科目	選択	8	科目	選択	1	科目	選択	1	科目
4	人	自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	14	科目	計	12	科目	計	1	科目	計	1	科目

(3) - ④ 設置時の計画に対する教員辞任率

(3)-③合計(D)+(F) (2)-②設置時の計画(A) 6.66 %

(注)・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) 一⑤ 令和2年度報告書から、新たに辞任等した専任教員等の状況

3

- (注)・(3) -1、(3) -2で赤字で記載した専任教員数の合計数を記載してください。
 - (3) 一⑥ 定年により退職した専任教員に対する後任補充状況

番 号	番 号 職 位 専任教員氏名 必修・選択・自由の別			担当予定科目 後任補充状況			辞任等の理由							
			必修	安全社会基盤工学	特別演習及び実験I	1								
			必修	安全社会基盤工学	特別演習及び実験Ⅱ	1								
1	教授	太田 淳一	選択	安全社会基盤工学ゼミナール I 安全社会基盤工学ゼミナール II		1		R3.3.31付け65歳で定年退職(3)						
'	我按	太田 /子	選択											
			選択	エネル	ギー概論	1		1						
			選択	エネル	ギー輸送	1]						
		4	計			後任補充状況の集計								
	辞任し	した教員数	担当科目数の合詞	† (a) + ((b) + (c)	①の合計数 (a) ②の合計数 (b) ③の合計数					数(c))		
			必修	2	科目	必修	2	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
			選択	4	科目	選択	4	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
	1	人	自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
			計	6	科目	計	6	科目	計	0	科目	計	0	科目

- (注)・ **定年により退職した全ての専任教員**についてに記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」 に辞任理由等及び()書きで報告年度を記入してください。
 - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」~「③」から選択し、 「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。
 - ・専任教員が担当する(している)場合は「①」

 - ・兼任兼担教員が担当する(している)場合は「②」 ・後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」
- (4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

担当科目については、他の専任教員で担当、補完しており、全体的な教育の質の確保はできているため、学生の履修上の影響はない。 学生へは、毎学期の時間割及びシラバスで周知している。

(注)・ 上記(3)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、 今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

6 附帯事項等に対する履行状況等

区 分	附帯事項等	履行状況	今後の の実施計画
	該当なし		

- (注)・「認可時」には、認可時または届出時に付された附帯事項(<u>学校法人の寄附行為又は</u> <u>寄附行為変更の認可の申請に係る附帯事項を除く。</u>)と、それに対する履行状況等について、 具体的に記入してください。
 - ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該年度の調査の結果、<u>当該大学に付された指摘を</u>全て記入するとともに、付された指摘に対する履行状況等について、具体的に記入してください。 その履行状況等の参考となる資料があれば、添付してください。
 - ・ 「履行状況」では、履行中であれば「履行中」、履行が完了していれば「履行済」を選択してください。
 - ・ 該当がない場合には、「附帯事項等」の部分に「該当なし」と記入してください。
 - ・「設置計画履行状況調査時」には、当該調査の実施年度の年を記入してください。

7 その他全般的事項

<工学研究科 安全社会基盤工学専攻>

(1) 設置計画変更事項等 国立大学法人 福井大学

設置時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど
該当なし	

- (注)・ 1~6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの(未実施を含む。) 及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。
 - (2) 教員の資質の維持向上の方策 (FD·SD活動含む)
- ① 実施体制
 - a 委員会の設置状況

【全学】福井大学高等教育推進センター FD・教育企画部門会議

【工学部】福井大学工学部及び大学院工学研究科FD委員会

b 委員会の開催状況(教員の参加状況含む)

【全学】福井大学高等教育推進センター FD・教育企画部門会議

令和2年度1回開催

委員構成:各学部委員,事務職員を含め9名

【工学部】福井大学工学部及び大学院工学研究科FD委員会

今和 2 年度 2 同閉催

委員構成:工学研究科長が指名した教員及び博士前期課程各コースから選出された教員 計11名

- c 委員会の審議事項等
 - ●福井大学高等教育推進センターFD・教育企画部門会議
 - 1) カリキュラムの調査・分析・検討、2) 授業内容・方法の改善及び教材開発、3) GP等の教育プロジェクト、
 - 4) e-learning・ICT利用教育及び双方向遠隔授業, 5) 教育に係る地域連携及び国際連携,
 - 6) 教育に係る評価及び教育評価法の開発, 7) その他センターが必要と認めた事項
 - ●福井大学工学部及び大学院工学研究科FD委員会
 - 1) FDの企画及び実施に関すること、2) アクティブ・ラーニングに関すること、
 - 3) カリキュラム評価アンケートに関すること、4) GPAデータのFDへの活用に関すること、
 - 5) その他FDに関すること
- ② 実施状況
 - a 実施内容
 - ●福井大学高等教育推進センターFD・教育企画部門会議 福井大学FD・SDシンポジウムの開催(1回)
 - ●福井大学工学部及び大学院工学研究科FD委員会
 - ・FD通信(教員の教育に関する取組みを紹介するメルマガ。令和2年度は遠隔授業の取組みを中心に25回発行)
 - ・FDランチタイムしゃべり場(教員間の意見交換会。令和2年度はオンラインで3回開催)
 - ・FD研修会(令和2年度は対面及びオンライン会議形式で2回開催)

- b 実施方法
 - ●福井大学高等教育推進センターFD・教育企画部門会議

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、福井大学FD・SDシンポジウムをオンラインにて開催することを決定し、オンデマンド方式とオンライン会議形式を併用して実施した。

- ●福井大学工学部及び大学院工学研究科FD委員会
- ・FD通信は、各コースの委員より寄稿を依頼し、委員長が取りまとめ、イントロ文を付けて25回配信した。
- ・FDランチタイム・しゃべり場は、各コース委員もしくは委員長より参加を依頼した教員、工学部執行部及び委員長が参加して、昼休みにオンラインにて実施した。
- ・FD研修会は、学生総合相談室と情報交換してタイムリーなトピックについて、教授会開催前の時間を利用して実施した。
- c 開催状況(教員の参加状況含む)
 - ・福井大学FD・SDシンポジウム「みんなで考えるオンライン授業 ~より良い大学教育を目指して~」

(令和2年9月14日)参加人数:101名

・FD研修会「アンガーマネジメント講座パート2 ~叱り方で変わる相手のやる気~」

(令和2年10月9日)参加人数:143名

・FD研修会「コロナ禍における学生相談 一学生の現状とその支援について一 」

(令和3年1月8日) 参加人数:143名

- d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況
 - ・実施結果を踏まえて、令和3年度以降の授業改善等に役立てていく。
- ③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況
 - a 実施の有無及び実施時期
 - ・福井大学の教育・研究に対する意識・満足度調査(令和2年度後期に実施)
 - b 教員や学生への公開状況、方法等
 - ・学生の在学中及び卒業・修了にあたり、本学の教育・研究に対してどのような意識や満足感を持っているかを 把握するアンケート(今後の必要な教育・研究環境等の整備・充実に役立てるため集計し教員等にフィード バックしている)
- (注) ・「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。

「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。(記入例参照)

(3) 教育課程連携協議会に関する事項 ※専門職大学、専門職短期大学、専門職学科、専門職大学院以外は「該当なし」と記入ください。

次号门顺八子、	等门 哪位别八子、	等 」 脚子件、	等門職人学院以外は	「該当なし」	こ言人へんとい。
該当なし					

(4) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

・令和3年度に実施し、令和4年7月に公表予定

令和2年度に改組し、順調に進んでいる。引き続き、設置の趣旨・目的に沿って教育・研究活動を計画通り 実施していきたい。 ② 自己点検・評価報告書 a 公表(予定)時期

- b 公表方法
 - ・自己点検・評価報告書を作成し、大学ホームページ上に公表予定
- ③ 認証評価を受ける計画
 - 令和4年度に機関別認証評価を受審予定
- (注)・ 設置時の計画の変更(又は未実施)の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(5) 情報公表に関する事項

0 1	设置計画履行状況報告	書(令和3年度)	
а	公表予定の有無	[有 • 無]	
≪ a ⁻ b c	で「有」の場合≫ 公表(予定)時期 公表方法	[調査結果公表後 1 ヶ月以内 · 公表後 2 ~ 3ヶ月以内 · 公表後 3ヶ月以降 [ウェブサイトへの掲載 ・ その他 ()]
≪ a ⁻ d	で公表「無」の場合≫ 公表しない理由	[J

※設置計画が各大学等が社会に対して着実に実現していく構想を表したものであることに鑑み、 設置計画履行状況報告書については、各大学等のウェブサイトに公表するなど、積極的な情報提供をお願いします。